

食安基発0824第2号

平成22年 8月24日

内閣府食品安全委員会事務局評価課長 殿

厚生労働省医薬食品局

食品安全部基準審査課長



食品健康影響評価に係る補足資料の提出依頼について（報告）

高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に係る標記については、平成21年8月25日付け府食第812号及び平成21年9月4日付け府食第858号にて依頼され、平成21年9月17日付け食安基発0917第1号、平成21年12月1日付け食安基発1201第1号及び平成22年6月1日付け食安基発0601第1号にて、DAG油の製造に責任を有している企業からの報告について報告したところです。

今般、当該企業からグリシドール脂肪酸エステルを経口摂取した場合の体内動態試験の結果について別添のとおり報告がありましたので報告いたします。

なお、当該企業からの報告のうち、ラットを用いた血中移行性に関する試験の結果については、信頼性及び中立性の確保を図るため、国立医薬品食品衛生研究所の研究者を中心とした専門家による確認を実施し、妥当であるとの報告を受けている旨申し添えます。

平成 22 年 8 月 23 日

厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長 殿

花王株式会社
代表取締役社長執行役員
尾崎 元規グリシドール脂肪酸エステルおよびグリシドールに関する補足資料の提出について

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の件につきましては、基準審査課長殿より平成 21 年 9 月 8 日付け食安基発 0908 第 1 号を以って補足資料提出のご連絡をいただきました。優先して検討を進めてまいりました 3 項目のうち 2 項目につきましては、平成 21 年 11 月 30 日付けで、「グリシドール脂肪酸エステル及びグリシドールの毒性に関する情報収集」を、また平成 22 年 5 月 31 日付けで、「グリシドール脂肪酸エステルおよびグリシドールの遺伝毒性試験」について弊社よりご報告いたしました。その後の進捗について、以下のとおりご報告いたします。

1. グリシドール脂肪酸エステルを経口摂取した場合の体内動態試験

グリシドール脂肪酸エステルの体内動態試験に必要な血漿中のグリシドール脂肪酸エステルの分析につきましては、LC/MS 法による定量下限 0.005 $\mu\text{g}/\text{mL}$ の高感度分析法を、またグリシドールの分析につきましては、GC/MS 法による定量下限 0.2 $\mu\text{g}/\text{mL}$ の分析法を開発いたしました。

グリシドールの分析法につきましては、専門家の方々より、より高感度の分析法開発が必要とのご指摘をいただき、その開発に努めてまいりましたが、グリシドールは低分子であり、揮発性が高く、不安定なことから、未だ十分な感度を持つ分析法の確立には至っておりません。

そこで、今回は高用量のグリシドール脂肪酸エステルをラットに投与した際の血中移行性に関する試験を GLP 基準に適合した試験受託機関にて実施いたしました。このたび、当該試験受託機関からこの試験結果に関する最終報告書入手いたしましたので提出いたします（概要は別紙 1）。なお本試験に関しましては、厚生労働省より依頼されました専門家の方々に信頼性及び中立性をご確認いただいております。

関連して、弊社では試験に用いる動物の種間差に関する自主研究を実施いたしました（別紙 1）。また種間差の解釈に有用と考えられる舌リパーゼに関する文献情報も収集いたしましたので、併せて提出いたします（別紙 2）。

2. 食用油脂中のグリシドール脂肪酸エステルの分析方法に関する情報

食用油脂中のグリシドール脂肪酸エステルの分析法につきましては、日本油化学会発行の専門誌（J. Oleo Science, 59:81-88, 2010）に掲載されましたことを平成 22 年 5 月 31 日に、ご報告いたしました。

その後、より汎用性があり、また固体脂も分析できる方法を開発し、その成果をまとめた論文を専門誌に投稿、受理されました（J. Am. Oil Chem. Soc. In press）。本論文の写しを提出いたします。

グリシドール脂肪酸エステルを経口摂取した場合の血中移行性に関する試験(概要)

GLP 基準に適合した試験受託機関にて、グリシドールリノール酸エステル(GEL)あるいはグリシドール(G)をラットに経口投与し、血中への移行性を検討した。

また、花王㈱による自主検討として、霊長類のカニクイザルを用いた血中移行性に関する試験も実施し、ラットと比較することにより種間差に関する知見を得た。以下にそれぞれを報告する。

1. ラットを用いた血中移行性の検討

ラット(Crl:CD(SD)系, 雄 7 週齢)に GEL あるいは G を経口投与し、投与後 5 分から 24 時間までの血漿中の GEL および G の濃度を測定した。GEL と G 濃度の測定には、それぞれ LC/MS 法と GC/MS 法を用いた。G の投与量は NTP によるラット発がん性試験の最高用量である 75mg/kg 体重、GEL はそれと等モルの 341 mg/kg 体重とした。GEL の投与用量は、エコナクッキングオイルを摂取したヒトの一日推定曝露量の約 4600 倍*に相当する。

表 1. 投与群の構成(ラット)

被験物質	投与量 (mg/kg)	ヒト曝露量* 比較(倍率)	投与液濃度 (mg/mL)	採血時点	動物数
GEL	341	×4571	68.2	投与後 5, 15, 30 分, 1, 2, 4, 8, 24 時間	3 匹/群 計 24 匹
G	75	(×4571)	15	投与後 5, 15, 30 分, 1, 2, 4, 8, 24 時間	3 匹/群 計 24 匹

GEL あるいは G を投与したラットの血漿中の GEL は、いずれの測定時点においても定量下限値(0.005 μ g/mL)未満であった。

一方、GEL あるいは G を投与したラットの血漿中の G 濃度は、いずれも投与後 30 分までに最高濃度に到達し、24 時間には定量下限値(0.2 μ g/mL)未満まで低下した。GEL あるいは G 投与群の最高 G 濃度は、それぞれ 26.0 μ g/mL と 33.6 μ g/mL であった。

表 2. ラットを用いた単回経口投与での血漿中グリシドール濃度測定結果概要

被験物質	GEL	G
投与量 (mg/kg)	341	75
血漿中 G 濃度 (μ g/mL)	投与後 5 分	19.8
	投与後 15 分	33.6
	投与後 30 分	24.7
	投与後 1 時間	9.00
	投与後 2 時間	2.42
	投与後 4 時間	0.786
	投与後 8 時間	0.465
	投与後 24 時間	BLOQ
最高血漿中 G 濃度(μ g/mL)	26.0	33.6

BLOQ: 定量下限(0.2 μ g/mL)未満

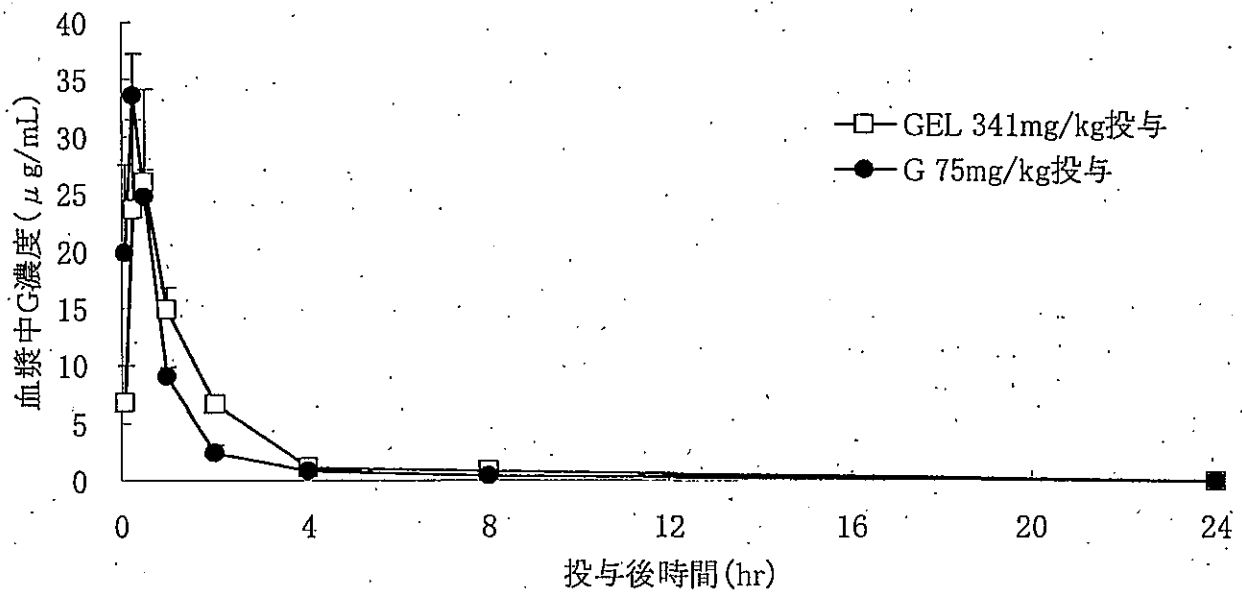


図1. ラットを用いた単回経口投与での血漿中グリシドール濃度推移

以上のことから、本試験条件下において、雄性ラットでは経口投与された GEL は G に変換され、血漿中では G として存在されることが明らかとなった。

本試験は、厚生労働省により依頼された信頼性確認チームによる信頼性と中立性の確認を受けたものである。

*グリシドール脂肪酸エステルが 373 μg/g 濃度で混入している食用油(エコナクッキングオイル)を体重 50kg のヒトが 1 日 10g 摂取した場合の曝露量($373 \mu\text{g/g} \times 10\text{g} \div 50\text{kg} = 74.6 \mu\text{g/kg}$)をもとに算出。

2. ラットとカニクイザルを用いた血中移行性および種間差の検討(花王㈱による自主研究)

上記試験よりも低い用量での血中移行性、および試験に用いる動物の種間差の検討を目的として、ラット(Crl:CD(SD)系, 雄5週齢)とカニクイザル(Macaca fascicularis, 雄2~5歳, 投与時体重 3.5~5.5kg)を用いて、GEL あるいは G 投与後 15、30 分の血漿中 G 濃度を ATD-GC-MS 法*を用いて検討した。

表3 投与群の構成(ラットおよびサル)

種	被験物質	投与量 (mg/kg)	ヒト曝露量** 比較(倍率)	投与液濃度 (mg/mL)	採血時点	動物数***
ラット	GEL	0.0746	×1	0.0149	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
		0.373	×5	0.0746	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
		1.87	×25	0.373	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
		9.33	×125	1.87	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
	G	0.0164	(×1)	0.00328	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
		0.0820	(×5)	0.0164	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
		0.410	(×25)	0.0820	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
		2.05	(×125)	0.410	投与後 15,30 分	6 匹 (1時点3匹)
サル	GEL	7.46	×100	1.49	投与後 15,30 分	2 匹
		22.4	×300	4.48	投与後 15,30 分	2 匹
	G	1.64	(×100)	0.328	投与後 15,30 分	2 匹
		4.92	(×300)	0.984	投与後 15,30 分	2 匹

ラットに 9.325mg/kg 体重(ヒト推定曝露量**の 125 倍)の GEL あるいは等モルの G を投与したところ、GEL 投与群の血漿中 G 濃度は投与後 15 分で $0.34 \mu\text{g/mL}$ 、30 分で $0.43 \mu\text{g/mL}$ 、G 投与群では投与後 15 分で $0.49 \mu\text{g/mL}$ 、30 分で $0.53 \mu\text{g/mL}$ であった。

一方、カニクイザルに 7.46mg/kg 体重および 22.4mg/kg 体重 (ヒト推定曝露量**の 100 倍および 300 倍)の GEL あるいは等モルの G を投与したところ、G 投与群では、低用量投与において血漿中の G は定量下限($0.05 \mu\text{g/mL}$) 以下であったが、高用量投与では投与後 15 分で $0.14 \mu\text{g/mL}$ 、30 分で $0.16 \mu\text{g/mL}$ の G が検出された。これに対して GEL 投与群ではいずれの投与量とも血漿中の G は定量下限($0.05 \mu\text{g/mL}$) 以下であった。

表 4 GEL または G 投与後のラットおよびサル血漿中 G 濃度

種	投与物質	投与量 (mg/kg)	ヒト曝露量 比較(倍率)**	血漿中 G 濃度 (ng/mL)***	
				15 分	30 分
ラット	GEL	0.0746	×1	BLOQ	BLOQ
		0.373	×5	BLOQ	BLOQ
		1.87	×25	50	90
		9.33	×125	340	430
	G	0.0164	(×1)	未測定	未測定
		0.0820	(×5)	未測定	未測定
		0.410	(×25)	110	50
		2.05	(×125)	490	530
サル	GEL	7.46	×100	BLOQ	BLOQ
		22.4	×300	BLOQ	BLOQ
	G	1.64	(×100)	BLOQ	BLOQ
		4.92	(×300)	140	160

BLOQ: 定量下限 (50 ng/mL) 未満

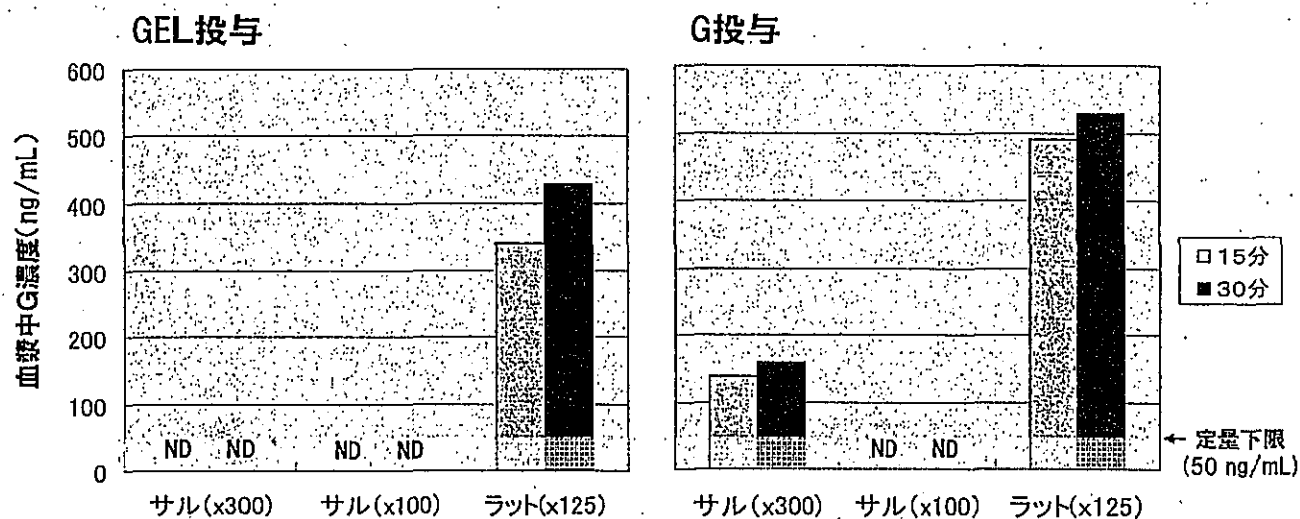


図 2. GEL または G 投与後のサルおよびラット血漿中 G 濃度

これらの結果からカニクイザルにおける血中移行性は、ラットのそれと異なる可能性が示唆された。

本試験は、花王(株)による自主研究であり、厚生労働省より依頼された信頼性確認チームによる信頼性と中立性の確認を受けたものではありません。

* 花王(株)で開発検討していた高感度分析方法の一つ。

** グリドール脂肪酸エステルが 373 $\mu\text{g/g}$ 濃度で混入している食用油(エコナ)を体重 50kg のヒトが一日 10g 摂取した場合の曝露量($373 \mu\text{g/g} \times 10 \text{g} \div 50 \text{kg} = 74.6 \mu\text{g/kg}$)をもとに算出。

*** ラットについては各時点 3 匹の血漿をプールしたサンプルを用いて G 濃度を測定した。一方、サルについては各群 1 例から投与後 15 分および 30 分のサンプルについて G 濃度を測定した。

油脂などの脂肪酸エステルの消化・分解にはリパーゼが重要な役割を果たすことから、グリシドール脂肪酸エステルの体内動態の種間差解釈に役立つと考えられる舌リパーゼに関する情報を収集しました。

ラット、マウス等のげっ歯類は、舌漿液腺から口腔内に舌リパーゼを分泌することが知られています。ウサギ、ブタ、ヒヒ、ヒトなどの動物種ではその酵素活性はほとんど認められず、げっ歯類では高いことが報告されています。さらに、舌リパーゼは、ラットの胃内環境に相当する pH2.5～6.0 の範囲では活性が維持されることが報告されています。

別紙 1 に示したラットとカンクイザルを用いた血中移行性に関する試験において、GEL を投与したラットに急速な血漿中 G 濃度の上昇が認められ、サルには認められなかったことについては、脂質消化に関与する舌リパーゼの寄与が影響した可能性があるかと推察しました。すなわち、ラットでは舌リパーゼが胃で活性を持ち、そのため、GEL は胃内への投与後速やかに脂肪酸が遊離して G に変換し、直ちに吸収されて、その結果、G を直接胃内に投与した場合と同じような投与初期の血漿中 G 濃度の急速な上昇が認められたものと考えられました。一方、サルにおいては、胃内での舌リパーゼの活性が低く、GEL から G に変換されにくかった結果として、血漿中に G は認められなかったものと考察しました。

- 1) Hamosh M. and Scow RO. Lingual lipase and its role in the digestion of dietary lipid. *J Clin Invest* 52: 88-95, 1973
- 2) DeNigris SJ, Hamosh M, Kasbekar DK, Lee TC, and Hamosh P. Lingual and gastric lipases: species differences in the origin of prepancreatic digestive lipases and in the localization of gastric lipase. *Biochim Biophys Acta* 959: 38-45, 1988
- 3) Hamosh M. Fat digestion in the stomach: Stability of lingual lipase in the Gastric environment. *Pediatric research*. vol 18. No3, 1984
- 4) Holmes RS, Cox LA, and VandeBerg JL. Comparative studies of mammalian acid lipases: Evidence for a new gene family in mouse and rat (*Lipo*). *Comp. Biochem. Physiol., D*, vol 5(3) 217-226, 2010

以上

平成 17 年度～20 年度 食品中の残留農薬の一日摂取量調査結果

平成 22 年 10 月 8 日

1. はじめに

厚生労働省では、国民が日常の食事を介して食品中に残留する農薬をどの程度摂取しているかを把握するため、国民健康・栄養調査を基礎としたマーケットバスケット調査方式による一日摂取量調査を平成 3 年度より実施してきたところであり、平成 17 年度からは、調査対象に動物用医薬品、飼料添加物を加え、農薬、動物用医薬品及び飼料添加物（以下「農薬等」という。）について、マーケットバスケット調査方式による一日摂取量調査を実施している。

平成 3 年度から 16 年度までの調査結果については既に公表しており^{1)～9)}、今般、平成 17 年度～20 年度の調査結果を取りまとめたので報告する。

2. 調査方法

(1) 調査機関

調査は、地方自治体の衛生研究所等の協力を得て実施した。平成 17 年度は 17 機関、平成 18 年度は 13 機関、平成 19 年度は 17 機関、平成 20 年度は 18 機関の協力を得た。（別表 1）

(2) 調査対象農薬等

平成 17 年度は 209、平成 18 年度は 369、平成 19 年度は 367、平成 20 年度は 368 の農薬等を調査した。（別表 2）

(3) 実施方法

① 分析調査

日常の食事を介して摂取される農薬等の量を推定するため、農産物のほか、加工食品、魚介類、肉類、飲料水等、食品全般について、次のようにモデル献立を設定して調査を実施した。

各調査機関において、国民健康・栄養調査の分類を参考に I～XIV に分類された食品群ⁱ（別表 3）ごとに、同調査の地域別集計による食品群別摂取量ⁱⁱ（参考：別表 4）となるよう、各食品群から食品を選択して組み合わせたものをモデル献立とした。選択した食品についてそれぞれ一般に流通するものを購入し、調理を要する

ⁱ 国民健康・栄養調査の分類は平成 15 年度から飲料水を含め全 18 群に再編成されているが、経年変化追跡の観点等から、旧分類をもって本調査を実施している。

ⁱⁱ 平成 17 年度は平成 14 年度の国民栄養調査、平成 18 年度は平成 16 年度の国民健康・栄養調査、平成 19 年度は平成 17 年度の国民健康・栄養調査、平成 20 年度は平成 18 年度の国民健康・栄養調査の特別集計結果を使用した。

食品については、通常行われている調理方法に準じて調理を行った。

このように各調査機関において設定したモデル献立に従って調製した試料を、食品群ごとに均一に破碎混合し、調査対象農薬等の定量分析を行った。なお、各農薬等の定量分析に当たっては、公定の試験方法を参考に、各調査機関において試験法を選定した。

② 平均一日摂取量の推定

分析の結果、いずれかの調査機関のいずれかの食品群で農薬等が検出された場合は、検出された調査機関のその食品群については、分析結果を当該食品群中の濃度とし、検出されなかった他の食品群については、各調査機関のそれぞれの検出限界の 20% を当該食品群中の濃度と仮定して、当該食品群の重量と濃度から、食品群ごとのその農薬等の摂取量を推定した。I～XIVの各食品群における摂取量の総和を調査機関ごとの一日摂取量とし、それらの平均値を平均一日摂取量とした。こうして得られた平均一日摂取量について、これまでに我が国、JMⁱⁱⁱPRⁱⁱⁱ又はJECFA^{iv}において設定された許容一日摂取量(ADI^v)に対する占有率(対ADI比)を求めた。

また、分析の結果、すべての調査機関でいずれの食品群からも検出されなかった農薬等については、各年度とも、少なくとも4機関において分析が行われ、かつ、これまでに我が国、JMⁱⁱⁱPRⁱⁱⁱ又はJECFA^{iv}においてADIが設定されているものに関して、各調査機関のそれぞれの検出限界の20%の量が含まれているものと仮定して、上述と同様に、平均一日摂取量を推定し、その対ADI比を求めた。

3. 調査結果

(1) 検出農薬等

各年度において、検出された農薬等は以下のとおりであった。

検出された農薬等の分析結果を別表5-1～5-4に示す。

平成17年度： アゾキシストロビン、イミダクロプリド、シメコナゾール、
ピペロニルブトキシド、フルアジホップ

平成18年度： アセフェート、イマザリル、エトフェンプロックス、
フェンチオン、プロシミドン、メタミドホス

平成19年度： アセタミプリド、アゾキシストロビン、イマザリル、
イミダクロプリド、オキサミル、クレソキシムメチル、
クロメプロップ、クロルプロファミン、チアクロプリド、
チアベンダゾール、チアメトキサム、
チオジカルブ及びメソミル、トルフェンピラド、ノバルロン、

ⁱⁱⁱ Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residue : FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

^{iv} FAO/WHO Joint Expert Committee on Food Additives : FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議

^v Acceptable Daily Intake : 毎日一生涯に渡って摂取したとしても健康に影響を生じないとされる量

ピペロニルブトキシド、ピリミホスメチル、フェノブカルブ、
フルアジホップ、フルフェノクスロン、プロシミドン、
ボスカリド、ルフェヌロン

平成 20 年度： シペルメトリン、プロシミドン

(2) 平均一日摂取量の推定

① 検出された農薬等の平均一日摂取量

検出された農薬等について、それぞれの平均一日摂取量 ($\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$) 及び対 ADI 比 (%) を、平成 3～16 年度の結果と合わせて別表 6 に示す。

② 検出されなかった農薬等の平均一日摂取量

4 機関以上で分析が行われ、いずれの食品群からも検出されなかった農薬等のうち、これまでに我が国、JMPR 又は JECFA において ADI が設定されているものに関して、分析を行った調査機関における検出限界の 20% の量がすべての食品群に含まれているとの仮定に基づいて推定されたそれぞれの平均一日摂取量 ($\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$) 及び対 ADI 比 (%) を、平成 3～16 年度の結果と合わせて別表 7 に示す。

4. まとめ

(1) 平成 17 年度～20 年度の調査において、28 の農薬等がいずれかの食品群において検出されたが、推定された平均一日摂取量 ($\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$) の対 ADI 比 (%) は 0.02%～2.94% の範囲であり、国民が一生涯に渡って毎日摂取したとしても健康に影響を生じるおそれはないものと考えられる。

(2) 上記 28 農薬等のうち、メタミドホス及びアセタミプリドについては、食品安全委員会において参考情報として急性参照用量 (ARfD⁴) がそれぞれ 0.003mg/kg 体重/日 (体重 50kg の場合、150 $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)、0.1mg/kg 体重/日 (同、5000 $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$) と示されている。

これらの農薬が検出された食品群からの一日摂取量を、別表 5-2 及び 5-3 のそれぞれの分析結果に当該食品群の摂取量を乗じて求めると、メタミドホスは第 VII 群及び第 VIII 群から 0.21 $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$ 、アセタミプリドは第 VII 群から 2.23 $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$ であり、それぞれ上述の ARfD 相当の摂取量の 1/700 及び 1/2200 程度と少ない量であった。極端な多食者等を想定していないマーケットバスケット調査方式による結果から評価を行うことは難しいものの、急性的な健康影響を生じるおそれはないものと考えられる。

⁴ Acute Reference Dose : 24 時間又はそれより短時間に経口摂取しても健康に悪影響が生じないと推定される量

- (3) 平成 17 年度～20 年度の各調査において 4 機関以上で分析が行われ、いずれの食品群からも検出されなかった農薬等のうち、これまでに我が国、JMPR 又は JECFA において ADI が設定されているものに関して、分析を行った調査機関における検出限界の 20% の量がすべての食品群に含まれていると仮定してそれぞれの平均一日摂取量 ($\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$) を推定したところ、アルドリン及びディルドリン以外については ADI を十分に下回っており、健康に影響を生じるおそれはないものと考えられる。

アルドリン及びディルドリンについては、対 ADI 比が 80% をわずかに超える年があったが、これは実際には検出されていないにもかかわらず各調査機関のそれぞれの検出限界の 20% の量がすべての食品群に含まれているとの仮定に基づいたものであって、①これらの農薬は「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」(POPs 条約) によって国際的に使用が禁止されている農薬であり、各食品群中に実際に残留している可能性は低いと考えられ、また、②ADI が比較的小さい値 ($5\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$) でありながら、一部の調査機関において分析機器等の関係から検出限界値が大きかったことにより計算上の摂取量が多くなり、結果的に対 ADI 比の値が大きくなったものであり、実際の日常の食事を介して健康影響を生じるおそれはないものと考えられる。

- (4) 今後とも引き続き、地方公共団体の検査機関と連携し、より数多くの農薬等について調査を行うことが可能となるよう、また、より微量分析が可能となるよう、試験法の検討、開発を進めること等により、調査内容の充実を図ることとしている。

引用文献

- 1) 佐藤大作：食品衛生研究、44(4)、29(1994)
- 2) 厚生省生活衛生局食品化学課：食品中の残留農薬、p. 7、日本食品衛生協会(1996)
- 3) 厚生省生活衛生局食品化学課：食品中の残留農薬、p. 7、日本食品衛生協会(1997)
- 4) 厚生省生活衛生局食品化学課：食品中の残留農薬、p. 7、日本食品衛生協会(1998)
- 5) 厚生省生活衛生局食品化学課：食品中の残留農薬、p. 7、日本食品衛生協会(2000)
- 6) 厚生労働省医薬局食品保健部基準課：食品中の残留農薬、p. 7、日本食品衛生協会(2001)
- 7) 食品中の残留農薬 CD-ROM、日本食品衛生協会(2002)
- 8) 食品中の残留農薬 CD-ROM、日本食品衛生協会(2004)
- 9) 食品中の残留農薬 厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/zairyu2/060418-1.html>

別表1 調査機関

機関名	平成17 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度
北海道立衛生研究所	○	○	○	○
埼玉県衛生研究所	○		○	○
千葉県衛生研究所				○
神奈川県衛生研究所	○		○	○
新潟県保健環境科学研究所	○		○	
長野県衛生公害研究所	○		○	○
石川県保健環境センター		○		○
兵庫県立健康環境科学研究所	○	○	○	○
鳥取県衛生環境研究所	○		○	
愛媛県立衛生環境研究所	○	○	○	○
高知県衛生研究所	○			
広島県衛生研究所	○	○	○	○
岡山県環境保健センター			○	○
福岡県保健環境研究所	○	○		○
長崎県環境保健研究センター				○
宮崎県衛生環境研究所	○	○	○	○
和歌山市衛生研究所	○	○	○	○
長崎市保健環境試験所	○			
浜松市保健環境研究所	○			
秋田市保健所	○	○	○	○
千葉市環境保健研究所		○	○	○
大阪市立環境科学研究所		○	○	○
福岡市保健環境研究所	○	○	○	○
北九州市環境科学研究所		○	○	

別表2 調査対象農薬等

農薬等名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1,1-ジクロロ-2,2-ビス(4-エチルフェニル)エタン		○	○	○
1-ナフタレン酢酸		○	○	○
2-(1-ナフチル)アセタミド		○	○	○
2-アセチルアミノ-5-ニトロチアゾール		○	○	○
2,4-D	○	○		
4-クロロフェノキシ酢酸		○	○	○
5-ヒドロキシチアベンダゾール		○		
5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン	○	○	○	○
BHC			○	○
DDT			○	○
EPN	○	○	○	○
MCPA		○	○	○
MCPB		○	○	○
TCMTB			○	○
XMC		○	○	○
γ-BHC			○	○
アイオキシニル		○	○	○
アクリナトリン		○	○	○
アクロミド		○	○	○
アザコナゾール	○	○	○	○
アザフェニジン			○	○
アザベロン		○	○	○
アザメチホス	○	○	○	○
アシフルオルフェン			○	○
アシベンゾラル-S-メチル		○	○	○
アジムスルフロン			○	○
アジンホスメチル			○	○
アセタミプリド		○	○	○
アセトクロール	○	○		
アセフェート		○	○	○
アゾキシストロピン	○		○	○
アトラジン		○	○	○
アニロホス	○	○	○	○
アバメクテン	○		○	○
アメトリン			○	○
アラクロール	○		○	○
アラニカルブ	○			
アラマイト		○	○	○
アルジカルブ		○	○	○
アルドキシカルブ		○	○	○
アルドリン及びディルドリン		○	○	○
アルベンダゾール			○	
アレスリン	○			
アンブロリウム		○	○	○
イオドスルフロンメチル		○	○	○
イサゾホス	○	○	○	○
イソウロン	○			
イソキサジフェンエチル	○		○	○
イソキサチオン		○	○	○
イソキサフルトール	○		○	○
イソフェンホス		○		
イソプロカルブ	○	○		
イソプロチオラン		○		
イプロジオン		○	○	○
イプロバリカルブ	○		○	○
イプロベンホス		○	○	○
イマザキン		○	○	○

農薬等名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
イマザメタベンズメチルエステル	○		○	○
イマザリル		○	○	○
イマズスルフロン		○		
イミダクロプリド	○		○	○
イミベンコナゾール			○	○
インダノファン		○		
インドキサカルブ	○		○	○
ウニコナゾールP			○	○
エスプロカルブ	○	○		
エタメツルフロンメチル			○	○
エタルフルラリン		○		
エチオン			○	○
エディフェンホス	○	○		
エトキサゾール			○	○
エトキシキン	○			
エトキシスルフロン		○	○	○
エトバベート	○	○	○	○
エトフェンプロックス		○	○	○
エトフメセート	○		○	○
エトプロホス		○		
エトリジアゾール	○			
エトリムホス	○	○	○	○
エプリノメクテン		○	○	○
エボキシコナゾール		○	○	○
エマメクテン安息香酸塩		○		
エリスロマイシン		○	○	○
エンドスルフアン		○	○	○
エンドスルフアンスルファート		○	○	○
エンドリン			○	○
エンロフロキサシン		○	○	○
オキサジアゾン	○	○	○	○
オキサジキシル	○	○	○	○
オキサジクロメホン	○		○	○
オキサミル		○	○	○
オキシカルボキシ	○	○	○	○
オキシクロルデン				○
オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン	○		○	○
オキシデメトンメチル	○			
オキシフルオルフェン	○		○	○
オキシベンダゾール	○		○	○
オキソリニック酸		○	○	○
オフロキサシン		○	○	○
オメトエート		○	○	
オラキンドックス	○	○	○	○
オリザリン	○	○	○	○
オルメトプリム	○	○	○	○
オレアンドマイシン		○	○	○
カズサホス	○	○		
カフェンストール	○	○		
カルバリル	○	○		
カルフェントラゾンエチル		○	○	○
カルプロバミド	○		○	○
カルボキシ	○		○	○
カルボフラン	○		○	○
キザロホップエチル			○	○
キシラジン		○	○	○
キナルホス	○	○	○	○
キノキシフェン	○		○	○

(別表2 つづき)

農薬等名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
キノクラミン		○	○	○
キントゼン	○	○		
クミルロン			○	○
クレソキシムメチル		○	○	○
クレンブテロール		○	○	○
クロキントセットメキシル	○	○	○	○
クロサンテル	○			
クロジナホップ酸		○	○	○
クロジナホッププロバルギル	○			
クロゾリネート		○		
クロチアニジン	○		○	○
クロピドール	○	○	○	○
クロフェンセット		○		
クロフェンテジン	○	○	○	○
クロプロップ		○	○	○
クロマゾン	○	○		
クロマフェノジド	○		○	○
クロメプロップ	○	○	○	○
クロランスラムメチル		○		
クロリダゾン	○	○	○	○
クロリムロンエチル		○	○	○
クロルエトキシホス	○	○		
クロルスルフロン		○	○	○
クロルタールジメチル	○	○	○	○
クロルデン			○	○
クロルピリホス			○	○
クロルピリホスメチル		○	○	○
クロルフェナビル		○	○	○
クロルフェンゾン		○	○	○
クロルフェンピンホス		○		
クロルブファム		○	○	○
クロルプロファム		○	○	○
クロルヘキシジン		○	○	○
クロルベンジド		○		
クロロクスロン		○	○	○
クロロネブ	○	○	○	○
クロロベンジレート	○	○		
サラフロキサシン		○	○	○
シアゾファミド	○	○	○	○
シアナジン		○	○	○
シアノホス		○	○	○
ジアベリジン		○	○	○
ジウロン		○		
ジエトフェンカルブ	○	○	○	○
ジオキサチオン		○		
ジオフェノラン	○			
ジクラズリル		○	○	○
シクラニリド		○		
シクロエート			○	○
ジクロシメット	○	○		
ジクロスラム		○		
シクロスルフアムロン		○		
ジクロトホス			○	○
ジクロフェンチオン		○	○	○
ジクロフルアニド	○			
シクロプロトリン	○	○	○	○
ジクロベニル	○			
ジクロホップメチル	○	○		
ジクロメジン		○	○	○
ジクロラソ		○	○	○

農薬等名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
ジクロルプロップ		○	○	○
ジクロルボス及びナレド			○	○
ジコホール			○	○
ジシクラニル		○	○	○
ジスルホトン		○	○	○
ジニドシエチル			○	○
ジノスルフロン		○	○	○
ジノテフラン	○			
シハロトリン		○	○	○
シハロホップエチル		○		
シハロホップブチル	○	○		
ジフェチミド	○	○	○	○
ジフェニルアミン	○			
ジフェノコナゾール		○		
シフルトリン		○	○	○
シフルフェナミド	○			
ジフルフェニカン		○		
ジフルベンズロン		○	○	○
シプロコナゾール		○	○	○
シプロジニル	○	○	○	○
シプロフロキサシン			○	○
シベルメトリン		○	○	○
ジベレリン		○	○	○
シマジン		○	○	○
シメコナゾール	○	○	○	○
ジメタメトリン		○	○	○
ジメチピン	○			
ジメチリモール	○		○	○
ジメチルピンホス	○	○		
ジメチナミド		○	○	○
ジメトエート		○	○	○
ジメトモルフ			○	○
シメトリン	○	○		
ジメジベレート		○	○	○
シラフルオフェン		○	○	○
スピノサド			○	○
スピラマイシン	○		○	○
スピロキサミン	○		○	○
スピロジクロフェン	○		○	○
スルファキノキサリン	○	○	○	○
スルファグアニジン		○	○	○
スルファクロルピリダジン	○	○	○	○
スルファジアジン	○	○	○	○
スルファジミジン	○	○	○	○
スルファジメトキシ	○	○	○	○
スルファセタミド		○	○	○
スルガチアゾール	○	○	○	○
スルファドキシ	○	○	○	○
スルファニトラン	○	○	○	○
スルファピリジン	○	○	○	○
スルファベンズアミド	○	○	○	○
スルファメトキサゾール	○	○	○	○
スルファメトキシピリダジン	○	○	○	○
スルファメラジン	○	○	○	○
スルファモノメトキシ	○	○	○	○
スルフェントラゾン		○		
スルプロホス	○			
スルホスルフロン		○		
セミカルバジド			○	
ゼラノール	○		○	○

(別表2 つづき)

農薬等名	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
ソキサミド	○		○	○
ターバシル		○	○	○
ダイアジノン		○	○	○
ダイアレート		○	○	○
ダイムロン		○		
タイロシン		○	○	○
ダノフロキサシン		○	○	○
チアクロプリド	○	○	○	○
チアベンダゾール		○	○	○
チアムリン		○	○	○
チアメトキサム	○		○	○
チアンフェニコール	○	○	○	○
チオジカルブ及びびメソミル		○	○	○
チオベンカルブ	○	○		○
チオメトン	○	○		
チジアズロン		○	○	○
チフェンスルフロメチル		○	○	○
チフルザミド	○	○		
チルミコシン		○	○	○
デキサメタゾン		○	○	○
テクナゼン		○		
テトラクロロピホス		○	○	○
テトラコナゾール			○	○
テトラジホン	○	○	○	○
テニルクロール	○	○		
テブコナゾール			○	○
テブチウロン		○	○	○
テブフェノジド			○	○
テブフェンピラド	○	○	○	○
テフルトリン		○	○	○
テフルベンズロン		○	○	○
デメトン-S-メチル		○		
デメトン-S-メチルスルホン		○		
デメホス	○			
デルタメトリン及びトラロメトリン		○	○	○
デルブトリン	○	○	○	○
テルブホス		○	○	○
トラルコキシジム	○	○		
トリアジメノール		○	○	○
トリアジメホン		○	○	○
トリアスルフロン		○		
トリアゾホス	○	○	○	○
トリアレート	○	○		
トリクロピル		○		
トリクロルホン		○	○	○
トリシクラゾール	○	○		
トリジファン	○			
トリチコナゾール	○		○	○
トリデモルフ	○	○	○	○
トリブホス	○	○		
トリフルスルフロメチル		○		
トリフルムロン		○	○	○
トリフルラリン		○		
トリフロキシストロピン	○		○	○
トリフロキシスルフロン		○	○	○
トリベヌロンメチル		○	○	○
トリメトプリム	○	○	○	○
トルクロホスメチル	○	○	○	○
トルフェナム酸		○	○	○

農薬等名	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
トルフェンピラド		○	○	○
ナイカルバジン	○	○	○	○
ナフシリン		○	○	○
ナブラタム		○	○	○
ナプロアニリド	○	○	○	○
ナプロバミド	○	○	○	○
ナリジクス酸		○	○	○
ニトロキシニル		○	○	○
ニトータルイソプロピル	○	○	○	○
ノナグロル				○
ノバルロン	○		○	○
ノボピオシン	○			
ノルフラゾン	○	○		
バクプロトラゾール		○	○	○
バミドチオン		○	○	
バラチオン		○	○	○
バラチオンメチル		○	○	○
ハルフェンプロックス		○	○	○
ハロキシホップ		○		
ハロスルフロメチル			○	○
ハロフジノン		○	○	○
ピオアレトリン	○			
ピオレスメトリン	○			
ピコリナフェン	○		○	○
ピテルタノール		○	○	○
ヒドロキシコルチゾン		○		
ピフェノックス	○	○		
ピフェントリン			○	○
ピペロニルブトキシド	○	○	○	○
ピペロホス		○	○	○
ピラクロストロピン		○		
ピラクロホス	○	○	○	○
ピラゾキシフェン	○			
ピラズスルフロリエチル		○	○	○
ピラゾホス	○	○		
ピラゾリネート	○	○	○	○
ピラフルフェンエチル			○	○
ピランテル		○	○	○
ピリダフェンチオン	○	○	○	○
ピリダベン		○		
ピリダリル	○			
ピリフェノックス	○	○	○	○
ピリフタリド	○		○	○
ピリブチカルブ		○		
ピリブロキシフェン			○	○
ピリミカーブ		○		
ピリミノバックメチル	○	○		
ピリミホスメチル		○	○	○
ピリメタニル	○		○	○
ピリメタミン		○	○	○
ピレトリン		○	○	○
ピロキロン		○		
ピンクロゾリン	○	○		
ファミフル	○			
ファミキサドン	○			○
フィピロニル		○		
フェナミホス			○	○
フェナリモル		○	○	○
フェニトロチオン		○	○	○

(別表2 つづき)

農業等名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
フェノキサニル	○	○		
フェノキサプロップエチル	○	○		
フェノキシカルブ	○	○	○	○
フェノチオカルブ		○	○	○
フェノトリン	○	○	○	○
フェノブカルブ		○	○	○
フェリムゾン		○	○	○
フェンアミドン	○		○	○
フェンクロルホス	○	○		
フェンスルホチオン	○	○		
フェンチオン		○	○	○
フェントエート		○	○	○
フェンバレレート		○	○	○
フェンピロキシメート	○	○	○	○
フェンブコナゾール	○		○	○
フェンプロパトリン		○	○	○
フェンプロヒモルフ	○	○		
フェンヘキサミド			○	○
フェンメディファム	○	○	○	○
フサライド		○	○	○
ブタクロール	○	○		
ブタフェナシル	○	○	○	○
ブタミホス		○	○	○
ブピリメート	○	○	○	○
ブプロフェジン		○		
ブラザスフロソ		○		
ブラチオカルブ		○		
フラムプロップメチル	○	○	○	○
フラメトピル		○		
プリミスルフロンメチル			○	○
フリラゾール	○		○	○
フルアクリピリム			○	○
フルアジホップ	○	○	○	○
フルキンコナゾール	○	○	○	○
フルジオキシニル			○	○
フルシトリネート		○	○	○
フルチアセットメチル		○	○	○
フルトラニル	○	○	○	○
フルトリアホール	○	○	○	○
フルニキシム		○	○	
フルバリネート		○	○	○
フルフェナセット		○		
フルフェノクスロン			○	○
フルフェンピルエチル			○	○
フルベンダゾール	○	○	○	○
フルミオキサジン	○		○	○
フルマイクロラックベンチル	○	○	○	○
フルメキン			○	○
フルメツラム			○	○
フルメトリン	○			
フルリドン	○		○	○
フルロキシピル		○		
ブレチラクロール	○	○		
ブレドニゾロン		○	○	○
ブクロラズ	○			
ブロシミドン		○	○	○
ブロスルフロン		○	○	○
ブロチオホス	○	○	○	○
ブロチゾラム			○	○

農業等名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
プロバキサホップ		○	○	○
プロバクロール	○	○		
プロバジン			○	○
プロバニル		○	○	○
プロバホス		○	○	○
プロバルギット	○		○	○
プロビコナゾール		○		
プロビザミド		○		
プロヒドロジャスモン	○	○		
プロファム	○		○	○
プロフェノホス	○	○	○	○
プロベタンホス	○			
プロボキシカルバゾン			○	○
プロボキシル	○	○	○	○
プロマシル		○	○	○
プロメトリン		○	○	○
プロモキシニル		○		
プロモブチド		○		
プロモプロピレート		○		
プロモホス	○	○		
プロモホスエチル	○	○		
プロモホスメチル	○			
フロラスラム		○	○	○
フロルフエニコール		○	○	○
ヘキサコナゾール		○	○	○
ヘキサジノン	○		○	○
ヘキサフルムロン		○	○	○
ヘキシチアゾクス		○	○	○
ベナラキシル	○		○	○
ベノキサコール	○	○		
ベノキスラム			○	○
ヘブタクロール		○	○	○
ベルメトリン		○		
ベンコナゾール		○	○	○
ベンシクロン	○	○		
ベンスルフロンメチル			○	○
ベンゾピシクロン	○			
ベンゾフェナップ	○	○	○	○
ベンダイオカルブ		○		
ベンディメタリン		○		
ベントキサゾン		○		
ベンフルラリン	○		○	○
ベンフレセート	○	○		
ホサロン		○	○	○
ホスカリド			○	○
ホステアゼート			○	○
ホスファミドン		○		
ホスメット		○		
ホメサフェン		○	○	○
ホラムスルフロン		○	○	○
ホルクロルフエニユロン		○	○	○
ホルモチオン		○		
ホレート	○		○	○
マラチオン		○	○	○
マルボフロキサシン		○	○	○
ミクロブタニル			○	○
ミルベメクテン	○		○	○
メカルバム		○		
メコブロッブ		○		

(別表2 つづき)

農薬等名	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
メソスルフロンメチル			○	○
メタベンズチアスロン		○	○	○
メタミドホス		○	○	○
メタラキシル及びメフェノキサム		○		
メチオカルブ			○	○
メチダチオン		○	○	○
メチルイソチオシアネート	○			
メチルブレドニゾロン		○	○	○
メトキシクロール	○	○	○	○
メトキシフェノジド	○		○	○
メトスラム		○	○	○
メトスルフロンメチル		○	○	○
メトブレン		○	○	○
メトミノストロビン		○	○	○
メトラクロール		○		
メバニピリム	○	○	○	○
メバミゾール		○		
メビンホス			○	○
メフェナセット	○	○		
メフェンビルジエチル	○		○	○
メプロニル	○	○	○	○
メベンダゾール		○	○	○
モネンシン		○	○	○
モノクロトホス		○		
モノリニューロン		○		
モランテル		○	○	○
ラクトフェン	○		○	○
ラサロシド		○	○	○
リニューロン		○	○	○
リファキシミン		○	○	○
リンコマイシン		○	○	○
ルフェヌロン			○	○
レスメトリン		○	○	○
レナシル	○	○	○	○
レバミゾール	○		○	○
ロベニジン		○	○	○
臭素				○
塩酸ホルメタネート	○			
酢酸トレンボロン	○	○	○	○
酢酸ヒドロコルチゾン			○	

別表3 国民健康・栄養調査食品群別表

I 群	米	玄米めし、半つき米めし、七分つき米めし、精白米めし、はいが精米めし、陸稲玄米めし、陸稲半つき米めし、陸稲七分つき米めし、陸稲精白米めし
	米加工品	アルファ化米、きりたんぼ、上新粉、ビーフン、米こうじ、もち、赤飯、あくまき、白玉粉、道明寺粉
II 群	小麦粉類	薄力粉、中力粉、強力粉、全粒強力粉、ホットケーキミックス粉、天ぷら粉
	パン類(菓子パンを除く)	食パン、コッペパン、乾パン、フランスパン、ライ麦パン、ぶどうパン、ロールパン、クロワッサン、イングリッシュマフィン、ナン
	菓子パン類	あんパン、クリームパン、ジャムパン、チョココロネ
	うどん、中華めん類	うどん、そうめん・ひやむぎ、中華めん、沖縄そば
	即席中華めん	インスタントラーメン、中華カップめん、焼きそばカップめん、和風カップめん
	パスタ	マカロニ・スパゲッティ
	その他の小麦加工品	生麩、観世ふ、小町ふ、板ふ、車ふ、竹輪ふ、小麦胚芽、餃子の皮、しゅうまいの皮、ピザクラスト、生パン粉、半生パン粉、乾燥パン粉
	そば・加工品	そば粉(全粒粉、ひきぐるみ)、内層粉そば粉、中層粉そば粉、表層粉そば粉、そば米、生そば、ゆでそば、干しそば、ゆで干しそば
	とうもろこし・加工品	とうもろこし(玄穀)、フライ味付けジャイアントコーン、ポップコーン、コーンフレーク
	その他の穀類	アマランサス、あわ、あわもち、オートミール、七分つき押麦、押麦、米粒麦、乾大麦めん、ゆで大麦めん、麦こがし、きび・もちきび、はとむぎ、ひえ、もろこし(精白粒)、全粒粉ライ麦粉、ライ麦粉
	さつまいも・加工品	さつまいも、蒸し・ふかしさつまいも、さつまいも(焼きいも)、干しいも
	じゃがいも・加工品	じゃがいも、じゃがいも(蒸し・ふかし)、乾燥マッシュポテト
	その他のいも・加工品	きくいも、こんにやく精粉、板こんにやく、生いもこんにやく、しらたき、さといも、さといも、みずいも、みずいも、やつがしら、やつがしら、いちよういも、ながいも、ながいも、やまといも、じねんじょ、だいじょ
	でんぷん・加工品	タピオカ粉、くず粉、米でん粉、小麦でん粉、さつまいもでん粉、かたくり粉、コーンスターチ、くずきり、タピオカパール、緑豆はるさめ、はるさめ
種実類	アーモンド、あさ、えごま、カシューナッツ、かぼちゃの種、かやの実、ぎんなん、くり、甘くり(焼きぐり)、くるみ、けしの実、ココナッツパウダー、ごま、しいの実、ピスタチオ、ひまわりの種、ペカン、マカダミアナッツ、まつの実、らっかせい、バターピーナッツ、ピーナッツバター	
III 群	砂糖・甘味料類	黒砂糖、和三盆糖、上白糖、三温糖、グラニュー糖、白ざら(上ざら)糖、中ざら(黄ざら)糖、角砂糖、氷砂糖、コーヒーシュガー、パウダーシュガー、水あめ、はちみつ、メープルシロップ
	和菓子類	甘納豆、あん入り生八つ橋、今川焼、ういろう、うぐいすもち、かしわもち、カステラ、かのこ、かるかん、きび団子、ぎゅうひ、きりざんしょ、きんぎょく糖、きんつば、草もち、くし団子、げっぺい、桜もち、大福もち、タルト、ちまき、ちやつう、どら焼き、ねりきり、カステラまんじゅう、くずざくら、くりまんじゅう、とうまんじゅう、蒸しまんじゅう、あんまん、もなか、ゆべし、練りようかん、水ようかん、蒸しようかん、あめ玉、芋かりんとう、おこし、おのろけ豆、黒かりんとう、白かりんとう、ごかぼう、炭酸せんべい、かわらせんべい、巻きせんべい、ごま入り南部せんべい、しおがま、中華風クッキー、ひなあられ、揚げせんべい、

		甘辛せんべい, あられ, 塩せんべい, 衛生ボーロ, そばボーロ, 松風, 三島豆, 八つ橋, らくがん, 麦らくがん, もろこしらくがん, 小麦粉あられ
	ケーキ・ペストリー類	シュークリーム(エクレア), スポンジケーキ, ショートケーキ, デニッシュペストリー, イーストドーナツ, ケーキドーナツ, パイ皮, アップルパイ, バターケーキ, ホットケーキ, カスタードクリーム入りワッフル, ジャム入りワッフル
	ビスケット類	ウェハース, オイルスプレークラッカー, ソーダクラッカー, サブレ, パフパイ, ハードビスケット, ソフトビスケット, プレッツェル, ロシアケーキ
	キャンデー類	キャラメル, 錠菓・果汁系, ゼリーキャンデー, ゼリービーンズ, チャイナマーブル, ドロップ, バタースコッチ, ブリトル・いり落花生入り, マシュマロ
	その他の菓子類	プリン・カスタードプディング, オレンジゼリー, コーヒーゼリー, ミルクゼリー, ワインゼリー, パバロア, コーンスナック, ポテトチップス, 成形ポテトチップス, カバーリングチョコレート, ホワイトチョコレート, ミルクチョコレート, マロングラッセ, 板ガム, 糖衣ガム, 風船ガム
IV 群	バター	有塩バター, 無塩バター, 発酵バター
	マーガリン	ソフトタイプマーガリン, ファットスプレッドマーガリン
	植物性油脂	オリーブ油, ごま油, 米ぬか油, サフラワー油, 大豆油, 調合油, とうもろこし油, なたね油, ひまわり油, 綿実油, 落花生油
	動物性油脂	牛脂, ラード
	その他の油脂	パーム油, パーム核油, やし油, ショートニング
V 群	大豆(全粒)・加工品	大豆, ゆで大豆, 大豆(水煮缶), きな粉, ぶどう豆(煮豆)
	豆腐	木綿豆腐, 絹ごし豆腐, ソフト豆腐, 充てん豆腐, 沖縄豆腐, ゆし豆腐, 焼き豆腐, 凍り豆腐, 豆腐よう, 蒸し豆腐竹輪, 焼き豆腐竹輪
	油揚げ類	生揚げ, 油揚げ, がんもどき
	納豆	糸引き納豆, 挽きわり納豆, 五斗納豆, 寺納豆(塩辛納豆, 浜納豆)
	その他の大豆加工品	おから, 豆乳, 調製豆乳, 豆乳飲料, 麦芽コーヒー, 生湯葉, 干し湯葉, 金山寺みそ, ひしおみそ
	その他の豆・加工品	乾燥あずき, ゆであずき, ゆであずき缶詰, こしあん, さらしあん, つぶしあん, 乾燥いんげんまめ, ゆでいんげんまめ, うずら豆(煮豆), いんげんまめこしあん, 豆きんとん, 乾燥えんどう, ゆでえんどう, グリンピース(揚げ豆), 塩豆, うぐいす豆, 乾燥ささげ, ゆでささげ, 乾燥ソラマメ, フライビーンズ(揚げそらまめ), おたふく豆, ふき豆, 乾燥たけあずき, 乾燥ひよこまめ, ゆでひよこまめ, フライ味付けひよこまめ, 乾燥べにばないんげん, ゆでべにばないんげん, 乾燥らいまめ, 乾燥りよくと, ゆでりよくと, 乾燥レンズ豆
VI 群	いちご	いちご
	柑橘類	いよかん, みかん, みかん缶詰(果肉), ネーブル, パレンシアオレンジ, スイーティー, きんかん, グレープフルーツ, さんぼうかん, すだち(皮), タンゴール, タンゼロ, なつみかん, はっさく, ひゅうがなつ, ぶんたん, ぶんたんざぼん漬, ぼんかん, ゆず(皮), レモン全果
	バナナ	バナナ, 乾燥バナナ

	りんご	りんご, リンゴ缶詰
	その他の生果	あけび, アセロラ, アテモヤ, アボカド, あんず, 干しあんず, あんず缶詰, いちじく, 干しいちじく, いちじく缶詰, うめ, 柿, 干し柿, かりん, キウイフルーツ, キワノ, グアバ, グズベリー, ぐみ, ココナッツミルク, スターフルーツ, さくらんぼ, アメリカンチェリー, さくらんぼ缶詰, さくら, すいか, すもも, 生ブルー, ドライブルー, チェリモヤ, ドリアン, なし, なし缶詰, 西洋なし, 西洋なし缶詰, 干しなつめ, 干しなつめやし, パインアップル, パインアップル缶詰, パインアップル砂糖漬, ハスカップ, パパイア, ピタヤ, びわ, びわ缶詰, ぶどう, 干しぶどう, ぶどう缶詰, ブルーベリー, ホワイトサポテ, まくわうり, マルメロ, マンゴー, マンゴスチン, メロン, もも, もも缶詰果肉, ネクタリン, やまもも, ライチ, ラズベリー, 乾燥りゅうがん
	ジャム	あんずジャム, イチゴジャム, マーマレード, ぶどうジャム, ブルーベリージャム, リンゴジャム
	果汁・果汁飲料	アセロラ果汁入り飲料, 梅果汁入り飲料, ストレートみかんジュース(天然果汁), 濃縮還元みかんジュース, 果粒入りみかんジュース, みかん果汁入り飲料, みかん缶詰(液汁), ストレートオレンジジュース(天然果汁), 濃縮還元オレンジジュース, オレンジ果汁入り飲料, かぼす果汁, グアバ果汁入り飲料, グレープフルーツストレートジュース(天然果汁), グレープフルーツ濃縮還元ジュース, グレープフルーツ果汁入り飲料, シクワシャー果汁, シクワシャー果汁入り飲料, すだち果汁, だいたい果汁, パインアップルストレートジュース(天然果汁), パインアップル濃縮還元ジュース, パインアップル果汁入り飲料, パッションフルーツ果汁, ぶどうストレートジュース(天然果汁), ぶどう濃縮還元ジュース, ぶどう果汁入り飲料, もも果汁入り飲料(ネクター), もも缶詰果汁, ゆず果汁, ライム果汁, りんごストレートジュース(天然果汁), りんご濃縮還元ジュース, りんご果汁入り飲料, レモン果汁
VII 群	トマト	トマト, ミントマト, ホールトマト缶詰
	にんじん	葉にんじん, にんじん, ミニキャロット
	ほうれん草	ほうれん草
	ピーマン	青ピーマン, 赤ピーマン, 黄ピーマン
	その他の緑黄色野菜	あさつき, あしたば, アスパラガス, サヤインゲン, エンダイブ, トウモロコシ, さやえんどう, おおさかしらな, おかひじき, オクラ, かぶ菜, 日本かぼちゃ, 西洋かぼちゃ, そうめんかぼちゃ, からしな, ぎょうじゃにんにく, きょうな, キンサイ, ししとうがらし, しそ菜, しその実, じゅうろくささげ, しゅんぎく, じゅんさい水煮びん詰, すぐきな, せり, タアサイ, かいわれだいこん, 葉だいこん, だいこん葉, つまみな, たいさい, たかな, たらぬめ, チンゲンサイ, つくし, つるな, つるむらさき, 葉とうがらし, 生とうがらし, 乾燥とうがらし, ゆでとんぶり, 長崎はくさい, なずな, なばな, なら, 花なら, 黄なら, 茎にんにく, 根深ねぎ, 葉ねぎ, こねぎ, 野沢菜, のびる, パクチョイ, バジル, パセリ, ひのな, 広島菜, ふだんそう, プロッコリー, みずかけな, みつば, 芽キャベツ, 芽たで, モロヘイヤ, ようさい, よめな, よもぎ, リーキ, サラダ菜, リーフレタス, サニーレタス, ロケットサラダ, わけぎ
	野菜ジュース	トマトジュース, トマトミックスジュース, にんじんジュース
VIII 群	キャベツ	キャベツ, グリーンボール, レッドキャベツ
	きゅうり	きゅうり

	大根	大根, 切り干し大根
	たまねぎ	たまねぎ, 赤たまねぎ
	はくさい	はくさい
	その他の淡色野菜	アーティチョーク, うど, 山うど, 枝豆, スナップえんどう, グリンピース, かぶ, かぶ・皮むき, カリフラワー, かんびょう, 菊, きくのり, くわい, コールラビ, ごぼう, しかくまめ, 葉しょうが, しょうが, しろうり, すいき, すぐきな根, ズッキーニ, セロリー, ぜんまい, 干しぜんまい, そらまめ, たけのこ, チコリー, つわぶき, とうがん, スイートコーン, クリームコーン缶, ホールカーネルコーン缶詰, ヤングコーン, トレビス, なす, べいなす, にがうり, にんにく, はつか大根, はやとうり, ビート, ふき, ふきのとう, ふじまめ, へちま, ホースラディッシュ, まこも, みょうが, みょうがたけ, むかご, アルファルファもやし, 大豆もやし, ブラックマツペもやし, 緑豆もやし, ゆり根, エシャロット, ルバーブ, レタス, コスレタス, れんこん, 生わさび, わらび
	葉類漬け物	おおさかしろな・塩漬, かぶ葉・塩漬, かぶ葉・ぬかみそ漬, からしな・塩漬, さんとうさい・塩漬, たいさい・塩漬, 高菜漬, 野沢菜・塩漬, 野沢菜(調味漬), 白菜塩漬, キムチ, ひのな・甘酢漬, 広島菜・塩漬, みずかけな漬
	たくあん・その他の漬け物	かぶ・塩漬, かぶ・ぬかみそ漬, きゅうり・塩漬, きゅうり・しょうゆ漬, きゅうり・ぬかみそ漬, ピクルス, ザーサイ, しょうが・酢漬, しろうり・塩漬, しろうり・奈良漬, すぐき漬, だいこん・ぬかみそ漬, 干しだいこん・たくあん漬, 守口漬, だいこん・べったら漬, だいこん・みそ漬, 福神漬, 塩抜き塩蔵・しなちく, なす・塩漬, なす・ぬかみそ漬, なす・こうじ漬, なす・からし漬, なす・しば漬, はやとうり・塩漬, やまごぼう・みそ漬, 生らっきょう, らっきょう甘酢漬, わさび漬, 梅漬(塩漬), 梅漬(調味漬), 梅干し, 梅干し(調味漬), 梅びしお, オリーブピクルスグリーン, オリーブピクルススライプ, オリーブピクルススタッフド
	きのこ類	えのきたけ, えのきたけ味付け瓶詰, 乾燥黒きくらげ, 乾燥白きくらげ, 黒あわびたけ, 生しいたけ, 乾しいたけ, はたけしめじ, ぶなしめじ, 本しめじ, たもぎたけ, なめこ, なめこ水煮缶詰, ぬめりすぎたけ, うすひらたけ, エリンギ, ひらたけ, まいたけ, 乾燥まいたけ, マッシュルーム, マッシュルーム水煮缶詰, まつたけ, 松茸水煮缶詰, やなぎまつたけ
	海草類	干しあおさ, 青のり, のり(干しあまのり), 焼きのり, 味付けのり, 蒸し干しあらめ, すき干し岩のり, 干しえごのり, おきうと, オゴノリ(塩蔵塩抜き), 干しかわのり, うみぶどう, らうすこんぶ, 干しかごめ昆布, 長こんぶ, 松前こんぶ, まこんぶ, 日高こんぶ, 利尻こんぶ, 刻みこんぶ, 削り昆布, 塩昆布, 昆布つくだ煮, すいぜんじのり(干し水戻し), 干してんぐさ, ところてん, 干し寒天, 寒天(ゼリー状), 赤とさか(塩蔵塩抜き), 青とさか(塩蔵塩抜き), 干しひじき, 干しひとえぐさ, のりつくだ煮, ふのり, 干しまつも, むかでのり(塩蔵塩抜き), 沖縄もずく(塩蔵塩抜き), 生わかめ(原藻), わかめ(乾燥), わかめ(乾燥水戻し), 板わかめ, わかめ(灰干し乾燥水戻し), カットわかめ, 生わかめ, 莖わかめ(塩蔵塩抜き), 生めかぶわかめ
IX 群	日本酒	清酒, 純米酒, 本醸造種, 吟醸酒, 純米吟醸酒, 白酒
	ビール	淡色ビール, 黒ビール, スタウトビール, 発泡酒
	洋酒・その他	白ワイン, 赤ワイン, ロゼワイン, 紹興酒, しょうちゅう, ウイスキー, ブランデー, ウォッカ, ジン, ラム, マオタイ酒, 梅酒, 合成清酒, 薬味酒, キュラソー, スイートワイン, ペパーミント, ベルモット

	茶	玉露, 抹茶, せん茶, かまいり茶, 番茶, ほうじ茶, 玄米茶, ウーロン茶, 紅茶
	コーヒー・ココア	コーヒー, インスタントコーヒー, コーヒー飲料, ピュアココア, ミルクココア
	その他の嗜好飲料	甘酒, 昆布茶, 炭酸飲料果実色(無果汁), コーラ, サイダー, 麦茶
X 群	あじ, いわし類	まあじ, 大西洋あじ, むろあじ, うるめいわし, かたくちいわし, まいわし, まさば, 大西洋さば, さば(しめさば), さんま, しまあじ, にしん
	さけ, ます	からふとます, ぎんざけ, さくらます, しろさけ, 大西洋さけ, にじます, べにざけ, ますのすけ
	たい, かれい類	あこうだい, あまだい, いしだい, いとよりだい, いとよりだい(すり身), いぼだい, おひょう, まがれい, まこがれい, 子持ちがれい, ぎんだら, きんめだい, きだい, くらだい, ちだい, まだい, すけとうだら, すけとうだら・すり身, たら(すきみだら), まだら, しらこ, ひらめ, みなみだら
	まぐろ, かじき類	くろかじき, まかじき, めかじき, かつお, そうだかつお, きはだまぐろ, くらまぐろ・赤身, くらまぐろ・脂身, びんなが, みなみまぐろ・赤身, みなみまぐろ・脂身, めじまぐろ, めばちまぐろ
	その他の生魚	あいなめ, あなご, あなご(蒸し), あまご, あゆ, あゆ内臓, アラスカめぬけ, あんこう, あんこう(きも・肝:内臓), いかなご, いさき, いわな, うぐい, うなぎ, うなぎ(きも・肝:内臓), うまづらはぎ, えい, えそ, おいかわ, おおさが, おこぜ, かさご, かじか, かます, かわはぎ, かんぱち, きす, きちじ, きびなご, キングクリップ, ぐち(いしもち), こい, 鯉内臓, こち, めごち, このしろ, あぶらつのざめ, よしきりざめ, ふかひれ, さより, さわら, しいら, したびらめ, しらうお, シルバー, すずき, たかさご, たかべ, たちうお, ちか, テラピア, どじょう, とびうお, なまず, にぎす, はぜ, はたはた, はまふえふき, はも, バラクータ, ひらまさ, とらふぐ, まふぐ, ふな, ぶり, はまち, ほうぼう, ホキ, ほっけ, ぼら, ほんもろこ, マジェランあいなめ, まながつお, むつ, めじな, めばる, メルルーサ, やつめうなぎ, やまめ, わかさぎ
	貝類	あかがい, あぎまき, あさり, あわび, いがい, ムール貝, いたやがい, かき, さざえ, しじみ, 貝柱たいらがい, たにし, つぶ, とこぶし, とりがい斧足, ばいがい, ばかがい, はまぐり, ちょうせんはまぐり, ほたてがい, ほたて貝柱, ほっきがい, みるがい水煮, うに
	いか, たこ類	あかいか, けんさきいか, こういか, するめいか, ほたるいか, やりいか, いいだこ, まだこ, なまこ, ほや
	えび, かに類	あまえび, いせえび, くるまえび, 素干しさくらえび(ゆで), 大正えび, しばえび, ブラックタイガー, がざみ, 毛がに, ずわいがに, たらばがに, おきあみ, ゆでしゃこ
魚介(塩蔵、生干し、乾物)	まあじ(開き干し), むろあじ(開き干し), むろあじ(くさや), うるか, いかなご(煮干し), まいわし(塩いわし), まいわし(生干し), まいわし(丸干し), しらす干し, しらす干し(ちりめん), たたみいわし, かたくちいわし(みりん干し), まいわし(みりん干し), うまづらはぎ(味付け開き干し), かつお(なまり節), かつお節, かつお削り節, かつお(削り節つくだ煮), かつお(塩辛・内臓, 酒盗), 干しかれい, きびなご(調味干し), キャビア, このしろ(甘酢漬), 塩ます, 新巻さけ, 塩ざけ, いくら, すじこ, めふん, べにざけ(くん製), さば節, 塩さば, さば(開き干し), さんま(開き干し), さんま(みりん干し), ししゃも(生干し), たらこ, 辛子めんたいこ, 塩だら, たら(干しだら), たら(でんぶ), 身欠きにしん, にしん(開き干し), にしん(くん製), かずのこ, はたはた(生干し), ほっけ(塩ほっけ), ほっけ(開き干し), からすみ, やつめうなぎ(干し), あわび(干し), あわび(塩辛), ほたて	

		貝柱(干し貝柱), さくらえび(素干し), さくらえび(煮干し), えび(干しえび), かに(がんで漬), ほたるいか(くん製), するめ, いか(さきいか), いか(くん製), いか塩辛(赤作り), あみ(塩辛), うに(粒うに), うに(練りうに), 塩蔵塩抜きくらげ, なまこ(このわた), ほや(塩辛)
	魚介(缶詰)	いわし水煮缶詰, いわし味付け缶詰, いわしトマト煮缶詰, いわし油漬缶詰, いわしかば焼き缶詰, かつお味付け缶詰, からふとます水煮缶詰, しのさけ水煮缶詰, さば水煮缶詰, さばみそ煮缶詰, さば味付け缶詰, さんま味付け缶詰, さんまかば焼き缶詰, まぐろ水煮缶詰, まぐろ味付け缶詰, まぐろ油漬缶詰, あさり水煮缶詰, あさり味付け缶詰, あわび水煮缶詰, エスカルゴ水煮缶詰, かきくん製油漬缶詰, トップシェル味付け缶詰, ほたて貝柱水煮缶詰, もがい味付け缶詰, ずわいがに水煮缶詰, たらばがに水煮缶詰, いか味付け缶詰
	魚介(佃煮)	いかなご(つくだ煮), いかなご(あめ煮), かたくちいわし(田作り), かじか(つくだ煮), かつお(角煮), はぜ(つくだ煮), はぜ(甘露煮), わかさぎ(つくだ煮), わかさぎ(あめ煮), あさり(つくだ煮), はまぐり(つくだ煮), えび(つくだ煮), ほたるいか(つくだ煮), いか(きりいかあめ煮), いか(いかあられ), つくだ煮あみ
	魚介(練り製品)	かに風味かまぼこ, 昆布巻きかまぼこ, す巻きかまぼこ, 蒸しかまぼこ, 焼き抜きかまぼこ, 焼き竹輪, だて巻き, つみれ, なんと, はんぺん, さつま揚げ
	魚肉ハム, ソーセージ	魚肉ハム, 魚肉ソーセージ
X I 群	牛肉	牛肉, 牛舌, 牛尾, ローストビーフ, コンビーフ缶詰, 牛味付け缶詰, ビーフジャーキー, スモークタン
	豚肉	豚肉, 豚舌, 豚足ゆで, 豚軟骨ゆで
	ハム、ソーセージ類	骨付きハム, ボンレスハム, ロースハム, ショルダーハム, プレスハム, チョップトハム, 促成生ハム, 長期熟成生ハム, ベーコン, ロースベーコン, ショルダーベーコン, ウィンナーソーセージ, セミドライソーセージ, ドライソーセージ, フランクフルトソーセージ, ポロニアソーセージ, リオナソーセージ, レバーソーセージ, 混合ソーセージ, 生ソーセージ, 焼き豚
	その他の畜肉	いのしし, いのぶた, うさぎ赤肉, 馬肉, しか肉, マトンロース, マトンもも, ラムかた(子羊), ラムロース(子羊), やぎ赤肉
	鶏肉	鶏肉, 鶏かわ, 鶏軟骨, 焼き鳥缶詰
	その他の鳥肉	あいがも, あひる, うずら, かも皮なし, きじ皮なし, しちめんちょう皮なし, すずめ, はと皮なし, ほろほろちょう皮なし
	肉類(内臓)	牛心臓, 牛肝臓, 牛じん臓, 牛第一胃, 牛第二胃, 牛第三胃, 牛第四胃, 牛小腸, 牛大腸, 牛直腸, 牛子宮, 豚心臓, 豚肝臓, 豚じん臓, 豚胃ゆで, 豚小腸(ゆで), 豚大腸(ゆで), 豚子宮, レバーペースト, スモークレバー, 鶏心臓, トリオ肝臓, 鶏筋胃, フォアグラゆで
	鯨肉	くじら肉, くじらうねず, くじら本皮, くじらさらしくじら
	その他の肉・加工品	いなごつくだ煮, かえる, すっぽん, はちの子缶詰

	卵類	うこっけい卵, うずら卵, うずら卵水煮缶詰, 鶏卵, ゆで卵, ポーチトエッグ, 鶏卵水煮缶詰, 加糖全卵, 乾燥全卵, 卵黄, ゆで卵黄, 加糖卵黄, 乾燥卵黄, 卵白, ゆで卵白, 乾燥卵白, たまご豆腐, 厚焼きたまご, だし巻きたまご, ピータン
X II 群	牛乳	生乳, 普通牛乳, 濃厚加工乳, 低脂肪加工乳, 脱脂乳液状乳
	チーズ	エダムチーズ, エメンタルチーズ, カテージチーズ, カマンベールチーズ, クリームチーズ, ゴーダチーズ, チェダーチーズ, 粉チーズ, ブルーチーズ, プロセスチーズ, チーズスプレッド
	発酵乳・乳酸菌飲料	プレーンヨーグルト, 加糖ヨーグルト, ヨーグルトドリンク, 乳酸菌飲料・乳製品, 非乳製品乳酸菌飲料
	その他の乳製品	コーヒー乳飲料, フルーツ乳飲料, 全粉乳, 脱脂粉乳, 調製粉乳, 無糖練乳, 加糖練乳, クリーム(乳脂肪), クリーム(乳脂肪・植物性脂肪), クリーム(植物性脂肪), ホイップクリーム(乳脂肪), ホイップクリーム(乳脂肪・植物性脂肪), ホイップクリーム(植物性脂肪), コーヒーホワイトナー・液状, コーヒーホワイトナー・粉末状, アイスクリーム, アイスミルク, ラクトアイス, ソフトクリーム, シャーベット, チーズホエーパウダー
	その他の乳類	母乳, やぎ乳
X III 群	ソース	ウスターソース, 中濃ソース, 濃厚(トンカツ)ソース
	しょうゆ	濃い口しょうゆ, うす口しょうゆ, たまりしょうゆ, さいしこみしょうゆ, しろしょうゆ
	塩	食塩, 並塩, 精製塩
	マヨネーズ	マヨネーズ(全卵), 卵黄マヨネーズ
	味噌	甘みそ, 淡色辛みそ, 赤色辛みそ, 豆みそ, 粉末淡色辛みそ, ペーストタイプ即席みそ
	その他の調味料	本みりん, 本直しみりん, トウバンジャン, チリペッパーソース, ラー油, 穀物酢, 米酢, ワインビネガー, りんご果実酢, かつおだし, こんぶだし, かつお昆布だし, しいたけだし, 煮干しだし, 鳥がらだし, 中華だし, 洋風だし, 固形コンソメ, 顆粒風味調味料, ストレートめんつゆ, 三倍濃厚めんつゆ, オイスターソース(かき油), マーボー豆腐の素, ミートソース, トマトピューレー, トマトペースト, トマトケチャップ, トマトソース, チリソース, ノンオイル和風ドレッシング, フレンチドレッシング, サウザンアイランドドレッシング, カレールウ, ハヤシルウ, 酒かす, みりん風調味料
	香辛料・その他	ゼラチン, オールスパイス, オニオンパウダー, 粉からし, 練りからし, マスタード, カレー粉, クローブ, 黒こしょう, 白こしょう, さんしょう, シナモン, 粉しょうが, おろししょうが, セージ, タイム, チリパウダー, とうがらし, ナツメグ, ガーリックパウダー, おろしにんにく, 粉末バジル, 乾燥パセリ, パプリカ, からし粉入り粉わさび, 練りわさび, 圧搾パン酵母, 乾燥パン酵母, ベーキングパウダー
X IV 群	飲料水	水道水, 簡易水道水, 井戸水, 泉水, 河川水

別表4 平成18年度国民健康・栄養調査による地域別食品群別摂取量

1人1日当たり (g)

	全国	北海道	東北	関東Ⅰ	関東Ⅱ	北陸	東海	近畿Ⅰ	近畿Ⅱ	中国	四国	北九州	南九州
I群													
米	340.2	293.6	374.2	306.6	384.1	397.7	308.6	324.9	359.2	338.7	386.6	345.7	373.4
米加工品	4.6	5.9	6.4	3.9	4.7	7.2	3.9	4.7	0.9	7.3	2.4	3	3.4
II群													
小麦粉類	4.2	2.7	4.6	4.1	3	4.4	3.9	5.2	4.6	3.7	4.9	4.8	3.5
パン類(菓子パンを除く)	30	35.1	14.6	33.1	22.5	21.1	36	39.1	37.6	30.2	27.4	30.8	19.6
菓子パン類	6	4.1	5.7	6.5	5.4	4.2	4.9	6.6	5.7	5.8	9.4	6.5	6.9
うどん、中華めん類	38.4	44.9	35.7	43.1	35.1	30.7	41	42.3	30.1	36.9	39.4	36.3	26.5
即席中華めん	4.3	4.3	5.2	4	4	4.1	5.3	4.4	3.2	4.1	4.7	4	3.3
パスタ	8	8.3	4.9	10	6.3	5.7	8.9	10.3	13.3	6.2	1.5	7.7	8.1
その他の小麦加工品	4.9	3.1	5	6.7	6	4.1	4.5	5.2	3.6	3.1	3.9	3.6	2.6
そば・加工品	5.8	17.4	10.7	9.1	5.1	3	4.9	2.7	3.3	1.3	6.3	0.7	7.4
とうもろこし・加工品	0.5	0.7	0.1	1.3	0.1	0.3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.3	0.4	0.1
その他の穀類	3	4.6	0.4	1.1	2.6	3	1.6	1.1	0.3	21.3	1	4.5	1.7
さつまいも・加工品	7.2	4.6	7.6	6.5	8.5	5.6	7.4	7.3	11.2	7.3	10.2	5.2	9.5
じゃがいも・加工品	29.2	42.2	30.6	29.7	31.2	31.9	26	28	28.1	26.6	37.7	22.4	30.4
その他のいも・加工品	23.5	16.4	23.9	18.1	28.1	31.6	26.9	21.6	23.3	26	26.2	22.4	25.2
でんぷん・加工品	2.1	2.3	1.5	2	2.3	1.8	1.8	2.4	1	2.2	2.2	3.3	1.6
種実類	2.1	2.5	1.1	2.1	1.7	2.3	3	2.1	1.6	2	1.1	2.1	1.7
III群													
砂糖・甘味料類	7.1	6.7	6.3	6.6	6.7	6.7	7.2	7	9	9.1	7.1	7.7	7
和菓子類	10.8	8.1	8.9	11.8	11.3	12.4	11.2	11.1	4.8	10.8	10.5	9.8	10.8
ケーキ・ペストリー類	7.2	9.1	3.3	7.9	7.2	4.6	7.6	10.4	17	5.1	6.7	6.1	2.7
ビスケット類	1.7	2.4	2.2	1.6	1.2	2	1.8	1.7	1.2	1.5	0.7	2	1.5
キャンデー類	0.3	0.1	0.4	0.5	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1
その他の菓子類	6	8.3	6.5	6	7.2	5.4	6.6	5	4.9	6.7	4.3	7	3.8
IV群													
バター	1	0.8	0.5	1.5	0.8	0.5	1	1.1	1.1	0.8	0.9	1	1
マーガリン	1	0.7	0.5	1.2	0.9	0.8	1.1	1.5	1.2	1.2	0.4	1	0.4
植物性油脂	8	7.8	8.8	8.8	7.9	7.6	7.8	8.1	7.9	8.7	6.7	7.8	7.9
動物性油脂	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0	0.1	0.2	0.1	0
その他の油脂	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0
V群													
大豆(全粒)・加工品	1.5	1.8	0.7	1.3	1.3	1.6	1.6	1.2	3.2	3.4	1.8	0.7	1.1
豆腐	35.2	30.7	37	30.5	37.5	33.2	33.6	32.2	30.8	41.8	53.2	37.4	45.3
油揚げ類	8.2	5.5	10.6	7.7	6	10.9	6.3	9	9.9	6	7.3	10.5	9
納豆	6.7	9.7	10.1	8.3	10.1	5.7	4.9	4.2	2.6	4.8	4	6.2	6.5

その他の大豆加工品	3.5	3.4	2.1	5.8	3	1.9	2.7	4	2.1	5	2.2	1.5	2.9
その他の豆・加工品	1.3	1.1	1.7	1.3	1.2	2.4	1.3	0.7	1	0.9	2.8	1.1	0.7
Ⅵ群													
いちご	0.1	0.6	0.1	0.1	0	0.2	0	0.2	0	0.1	0	0	0
柑橘類	24.1	23.2	13.2	22	25	19	26.3	25.8	34.7	22.9	38.9	23.9	31.9
バナナ	11.9	11.4	8.8	10.2	11.1	11.6	13.8	14.1	13.5	13.6	15.3	12.1	10.3
りんご	25.8	34.4	46.7	26.9	25.8	19.3	25.5	22.1	22.2	22.5	21.4	16.9	22.3
その他の果実(缶詰 含)	32.2	27.2	36.6	31	22.1	57.7	31.4	37.8	35.8	32.5	22.6	23	22.2
ジャム	1.1	1.6	1	1.3	0.8	1	1.4	1	1.5	1.7	1.2	1.1	0.5
果汁・果汁飲料	12.5	14.3	7.7	15.6	11	7.1	12.8	15.8	4.1	13.8	10.9	10.6	11.7
Ⅶ群													
トマト	15.2	13.5	9	21.1	11.5	11.6	17.4	15.5	10	14.4	7.7	15.9	13.7
にんじん	20.6	17.8	21.7	20.7	23.9	23	19	19	20	22.7	18.4	17.4	22.5
ほうれん草	19.8	19.6	16.4	19	24	22.1	20.9	19.1	16.7	19.4	15.4	21.6	18.2
ピーマン	3.6	3.6	2.7	3.1	3.4	3.1	3.4	3.7	3.5	5.3	5.8	4.1	4.8
その他の緑黄色野菜	36.4	26.1	36.5	34	37.9	39.1	33.9	38.7	36	36.7	39.4	37.6	42.2
野菜ジュース	9	7	9.9	12.6	2.8	7.2	9	11.3	5.4	10.9	10	6	6.3
Ⅷ群													
キャベツ	22.7	17.9	27.8	22.5	22.7	20.9	19.9	24.4	17.9	23.4	20	24.4	23.4
きゅうり	10.7	8.3	9.8	11.3	13	9.1	9.1	10.9	5.6	8.9	9.1	12.2	14.8
大根	38.6	29.4	48.5	36.1	50	53	35.9	34.1	51.9	37.6	48	27.4	35.7
たまねぎ	29.7	24.6	26.6	29.9	32.4	22.1	27.2	30.2	44.8	35.3	31.4	28.3	33.2
はくさい	22.5	20.4	22.5	13	29.7	22.9	25	22.7	28.6	23.3	25.1	31	23.3
その他の淡色野菜	44.4	42.8	48.5	49.3	45.9	54.3	41.8	39.2	31.2	42.5	45	37	44
葉類漬物	5.1	4.7	5.1	5.3	10.3	5.4	4.7	3.5	4.7	4.2	4.5	4	3.6
たくあん・その他の漬 け物	9.5	8.9	12.1	12.1	9.7	10.5	8.9	7.6	9.9	6.6	9.9	8.3	6.5
きのこ類	15.3	11.3	21	13.4	15	14.5	16.6	14.2	12.5	18.5	13	15.9	16.1
海草類	12.8	13.4	13.7	12.3	14	13.7	12.7	11.1	7.7	14.7	9.8	13.5	14.7
Ⅸ群													
日本酒	11.6	9.4	16	10.2	12.2	21.2	11.1	11.5	12.5	14	12.9	7.4	3
ビール	58.6	66.9	58.9	62.9	47.4	49.2	49.4	75.2	49.4	66.8	48.8	52.3	62.5
洋酒・その他アルコール 飲料	26	20.7	28.5	26.1	28.9	16.1	22.2	23.9	13.3	28.3	17.4	35.6	39.9
茶	310.1	230.4	173.2	317.8	334.9	240.9	317.9	318.3	336.2	268.4	360.7	340.1	494.4
コーヒー・ココア	118.1	140.4	101.4	123.8	90	114.1	117.6	131.7	129.1	164.7	97.4	114	80.7
その他の嗜好飲料	97.5	73.6	55.8	103.6	52.5	65.6	108.6	126.7	174.4	93.7	108.3	135.7	65.9
X群													
あじ、いわし類	11.8	10.4	15.4	11.7	7.2	14.4	10.8	10	13.5	12.7	15.3	15.7	10.4
さけ、ます	4.3	8.6	7.7	4.1	4.1	9.8	3.2	3.6	2.9	3.3	0.8	2.2	2.1

たい、かれい類	6.5	5.7	9.5	5.2	7	8.7	4.4	7.2	4.5	6.8	6.2	7.9	5.8
まぐろ、かじき類	5.3	3.6	6.6	6.3	7.6	3	8.3	5.3	3.7	3	3.2	2.7	6.4
その他の生魚	9.5	7.7	8.9	5.9	7.7	11.5	7.1	11.8	10	15	12	12.4	12.4
貝類	3.6	3.5	4.2	3.8	3.1	2.1	4.1	3.5	1.3	5.2	2	3.4	3.6
いか、たこ類	5	1.8	5.9	4.3	5	5.3	5.1	6.8	2.2	6.1	3.4	5.3	3.6
えび、かに類	5.8	3	3.8	5.3	4.4	8.7	5	7.2	3.2	9	5.2	7.4	4.2
魚介(塩蔵、生干し、乾物)	15.9	26.7	12.5	17.6	22.7	12.2	15.3	13.8	17.2	12.3	14.6	15	14
魚介(缶詰)	1.9	0.9	2.2	2.3	2.1	1.8	2	2	1.8	1.4	0.8	1	2.8
魚介(佃煮)	0.3	0.6	0.3	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.4	0.5	0.2	0.1	0.4
魚介(練り製品)	9.8	9.2	10	8	9.3	13.9	10.3	9.7	8.7	8.7	16.8	10.8	7.9
魚肉ハム、ソーセージ	0.5	0.8	0.7	0.2	0.4	0.4	0.6	0.2	0.4	0.5	0	1.6	0.5
X I 群													
牛肉	13.8	4.4	7.4	14.4	5.9	9.8	12.9	21.3	18.8	21.4	16.5	14.6	12.7
豚肉	30.8	30.7	29.4	34.2	34.1	27	31	28.6	34.3	24.3	28.1	32.2	29.9
ハム、ソーセージ類	12.4	14.6	10.2	13.6	12.5	10.7	13.8	12	13.5	10	9.1	12.1	13.1
その他の畜肉	0.4	8.3	0	0.2	0.5	0	0.4	0	0	0.3	0	0	0
鶏肉	21.1	15	17.6	21.8	19.6	16.7	20.2	21.5	22.4	19.5	18.3	27.7	27.9
その他の鳥肉	0.1	0	0	0.2	0	0.1	0	0.7	0	0	0	0	0
肉類(内臓)	1.7	1.5	1.4	1.6	1.6	1.3	2	1.4	0.4	1.4	0.3	3.3	2.6
鯨肉	0.1	0	0	0	0	0.2	0	0	0.6	0.1	0.1	0.3	0.2
その他の肉・加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵類	36	34.4	35.5	32.5	33.4	37.6	38.2	38.5	42.3	40.1	39.2	38.4	33.6
X II 群													
牛乳	93.5	94.7	99.2	98.2	86.2	99.3	92.9	94.1	98.3	94.9	84.7	82.6	85.5
チーズ	2.3	4.6	1.4	3.3	2	1.5	2.4	2.4	2.1	2.3	0.5	1.7	1.4
発酵乳・乳酸菌飲料	21.3	25	15.8	25.3	17.9	16.1	25.9	20.7	20.8	26.7	17.6	15.7	20.2
その他の乳製品	8.2	12	4.1	9	8.6	5	8.3	8.8	9.6	7.1	13	9.9	6
その他の乳類	0.1	0	0	0.3	0	0.5	0	0	0	0	0.7	0	0
X III 群													
ソース	2.1	1.4	1.3	2.2	1.8	2	2	3.4	2.2	2.2	2.7	1.8	1
しょうゆ	17.5	16.2	19.3	16.6	17.3	17.9	16.8	16	17.8	19.5	16.7	19.7	18.3
塩	1.4	1.4	1.2	1.5	1.4	1.5	1.3	1.4	1.4	1.4	1.1	1.5	1.3
塩	3.2	3.6	3.8	3.4	3.6	2.9	3.3	3.3	2.3	2.4	2.2	3.3	2.7
味噌	12.4	14.6	15.7	11.9	14.9	14.4	11.9	8.6	8.9	10.5	9.9	12	18.3
その他の調味料	56.9	70.5	48.4	57.5	49.5	57.7	62.9	69.2	71.7	47	51.4	46.8	46.7
香辛料・その他	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2

※: X IV 群の飲料水については 600ml とした。

別表5-1 平成17年度 検出農薬等分析結果

-は検出限界以下を示す。

農薬名	調査機関 ^{注2)}	分析結果 (ppm)													
		I ^{注1)}	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV
アゾキシストロピン	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	0.012	-	-	-	-	-	-	-
イミダクロプリド	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	0.036	-	-	-	-	-	-	-
シメコナゾール	(1)	-	-	-	-	-	-	0.270	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ピペロニルブトキシド	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.005	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フルアジホップ	(1)	-	-	-	-	0.010	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

別表5-2 平成18年度 検出農薬等分析結果

-は検出限界以下を示す。

農薬名	調査機関 ^{注2)}	分析結果 (ppm)													
		I ^{注1)}	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV
アセフェート	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	0.0004	0.0014	-	-	-	-	-	-
イマザリル	(1)	-	-	-	-	-	0.007	-	-	-	-	-	-	-	-
エトフェンプロックス	(1)	-	-	-	0.065	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	0.018	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フェンチオン	(1)	-	-	-	0.009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プロシミドン	(1)	-	-	-	-	0.0067	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	0.0098	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メタミドホス	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	0.0004	0.001	-	-	-	-	-	-

別表5-3 平成19年度 検出農薬等分析結果

-は検出限界以下を示す。

農薬名	調査機関 ^{注2)}	分析結果 (ppm)													
		I ^{注1)}	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV
アセタミプリド	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	0.022	-	-	-	-	-	-	-
	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アゾキシストロピン	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	0.0044	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(別表5-3 つづき)

農薬名	調査機関 ^{注2)}	分析結果 (ppm)													
		I ^{注1)}	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV
イマザリル	(1)	-	-	-	-	-	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イミダクロプリド	(1)	-	-	-	-	-	-	0.003	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オキサミル	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	0.0011	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クレソキシムメチル	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	0.040	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クロメプロップ	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.004	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クロルプロファム	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	0.024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チアクロプリド	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	0.0023	0.0002	-	0.0008	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チアベンダゾール	(1)	-	-	-	-	-	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-
	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(6)	-	-	-	-	-	0.023	-	0.014	-	-	-	-	-	-
チアメトキサム	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	0.0003	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チオジカルブ及びメソミル	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	0.010	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(5)	-	-	-	-	-	-	-	0.0052	-	-	-	-	-	-
	(6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トルフェンピラド	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	0.037	-	-	-	-	-	-	-
ノバルロン	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	-	-	-	-	-	-	0.0007	0.0003	-	-	-	-	-	-
	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(別表5-3 つづき)

農薬名	調査機関 ^{注2)}	分析結果 (ppm)													
		I ^{注1)}	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV
ピペロニルブトキシド	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(5)	—	0.046	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ピリミホスメチル	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	0.009	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノブカルブ	(1)	—	—	—	—	—	—	—	0.001	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フルアジホップ	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	0.001	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フルフェノクスロン	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	0.0004	—	—	0.048	—	—	—	—	0.03	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プロシミドン	(1)	—	—	—	—	0.0063	—	—	0.0053	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	—	0.0169	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ボスカリド	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	0.0002	—	0.0002	0.0004	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ルフエヌロン	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	0.0009	—	—	—	—	—	—	—	0.0008	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

別表5-4 平成20年度 検出農薬等分析結果

—は検出限界以下を示す。

農薬名	調査機関 ^{注2)}	分析結果 (ppm)													
		I ^{注1)}	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV
シベルメトリン	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	—	—	—	0.0422	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プロシミドン	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(2)	—	—	—	—	—	—	—	0.0147	—	—	—	—	—	—
	(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 食品群 I ~ XIVは食品群分類(表1)のとおり

注2)(1)~(6)は調査機関の別を示す

別表6 いずれかの食品群において一度でも検出された農薬等の平均一日摂取量の推計

農薬等名	調査年度等					平均一日摂取量 (μg/人/日)					対ADI比 (%)					ADI (μg/人/日)
	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
1. DDT	1.49 ~ 2.97					0.60 ~ 1.19										250
2. EPN	1.26 ~ 2.82					1.80 ~ 4.03										70
3. アジンホスメチル	1.38 ~ 3.21					1.97 ~ 4.59										70
4. アセタミプリド				9.73									0.27			3,550
5. アセフェート	1.37 ~ 21.93		0.79			1.14 ~ 18.28					0.66					120
6. アゾキシストロピン		3.94		2.29						0.04		0.03				9,000
7. イマザリル	6.46		3.05	3.98		0.43					0.20	0.27				1,500**
8. イミダクロプリド		7.05		2.39						0.25		0.08				2,850
9. エトフェンブロックス			2.09								0.13					1,550
10. エンドスルファン	2.35 ~ 3.46					0.82 ~ 1.21										285
11. オキサミル				2.88								0.29				1,000
12. カルバリル	2.09 ~ 4.48					0.56 ~ 1.19										375
13. クレソキシムメチル				3.13								0.02				18,000
14. クロメプロップ				2.93								0.95				310
15. クロルデン	1.91					7.64										25**
16. クロルピリホス	1.07 ~ 2.16					2.14 ~ 4.32										50
17. クロルピリホスメチル	0.95 ~ 2.17					0.19 ~ 0.43										500**
18. クロルプロファム	2.14 ~ 4.22			3.81		0.04 ~ 0.08						0.08				5,000
19. ジクローラン	1.89					0.38										500**
20. ジコホール	1.17 ~ 2.42					1.17 ~ 2.42										100**
21. シベルメトリン	2.59 ~ 21.62				4.29	0.10 ~ 0.86								0.17		2,500
22. シメコナゾール		12.51								2.94						425
23. ジメトエート	1.60 ~ 3.04					1.60 ~ 3.04										100**
24. 臭素	6,038 ~ 8,150					12.08 ~ 16.30										50,000**
25. チアクロプリド				2.37								0.40				600
26. チアベンダゾール	4.93			3.39		0.10						0.07				5,000
27. チアメトキサム				2.84								0.32				900
28. チオジカルブ及びメソミル				4.49								0.30				1,500**
29. トルフェンピラド				3.48								1.24				280
30. ノバルロン				2.64								0.48				550
31. パミドチオン	20.89					5.22										400
32. ビベロニルプトキシド		1.74		3.04						0.02		0.03				10,000**
33. ピリミホスメチル				3.13								0.21				1,500**
34. フェナミホス	1.52					3.80										40**
35. フェニトロチオン	0.77 ~ 7.12					0.31 ~ 2.85										250
36. フェノプロカルブ				3.03								0.51				600
37. フェンチオン			2.17								1.89					115
38. フェントエート	1.26 ~ 4.06					1.68 ~ 5.41										75
39. フェンバレレート	2.13 ~ 45.07					0.24 ~ 5.01										900
40. フルアジホップ		5.59		0.46						1.12		0.09				500
41. フルフェノクスロン	4.17 ~ 5.02			3.23		0.23 ~ 0.27						0.17				1,850
42. プロシミドン			2.17	2.09	2.38						0.12	0.12	0.14			1,750
43. プロチオホス	1.26 ~ 2.35					1.68 ~ 3.13										75
44. プロバルギット	1.71					0.34										500**
45. ヘプタクロル	1.37					27.40										5**
46. ボスカリド				2.63								0.12				2,200
47. マラチオン	1.03 ~ 2.16					0.10 ~ 0.22										1,000
48. メタミドホス	1.37 ~ 3.72		0.75			4.57 ~ 12.40					2.50					30
49. メテダチオン	1.06 ~ 1.16					2.12 ~ 2.32										50**
50. メトブレソ	9.41					0.19										5,000
51. ルフェネロン				2.90								0.41				700

* 平成3～16年度の結果は、それぞれ文献1)～9)から引用した。
 ** JMPR又はJECFAが設定したADI

別表7 いずれの食品群においても検出されなかった農薬等の平均一日摂取量の推計

農薬等名	平均一日摂取量 (μg/人/日)					対ADI比 (%)					ADI (μg/人/日)
	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
1. BHC	2.42			2.76	2.67	0.39			0.44	0.43	625
2. γ-BHC				1.72	2.56				0.69		250**
3. DCIP	6.71					0.10					6,500
4. EPTC	3.23					0.26					1,250
5. XMC	1.69		2.00	2.70	2.74	0.99		1.18		1.61	170
6. アクリナトリン	3.50		2.87	7.80	2.63	0.29		0.24	0.65	0.22	1,200
7. アシベンゾラル-S-メチル				4.03					0.16		2,500
8. アトラジン	1.69		1.24	2.35	2.48	0.17		0.12	0.24	0.25	1,000**
9. アニロホス				3.38					6.76		50
10. アバメクテン				2.95					2.95		100**
11. アミトラズ	6.85					5.48					125
12. アメトリン	1.79			1.41	1.82	0.05			0.04	0.05	3,600
13. アラクロール	3.23	2.14		2.96	2.84	1.29	0.86		1.18	1.14	250
14. アルジカルブ	15.52			2.19		10.35			1.46		150**
15. アルドリン及びディルドリン	0.40 ~ 2.42 (ディルドリン)		2.94	4.02	3.86	8.00 ~ 48.40 (ディルドリン)		58.80	80.40	77.20	5**
16. イソキサチオン	4.46		7.79	1.80	2.22	2.97		5.19	1.20	1.48	150
17. イソフェンホス	0.83 ~ 3.34		2.40			1.66 ~ 6.88		4.80			50**
18. イソプロカルブ	2.24 ~ 3.34	2.69	0.97			1.12 ~ 1.67	1.35	0.49			200
19. イソプロチオラン	2.58		2.59			0.05		0.05			5,000
20. イプロジオン	1.92			6.88		0.06			0.23		3,000**
21. イプロベンホス	1.69		2.12	2.94	2.73	0.10		0.12	0.17	0.16	1,750
22. イミベンコナゾール	19.60			5.30	6.27	4.00			1.08	1.28	490
23. インドキサカルブ				3.49					1.34		260
24. ウニコナゾールP	4.91			2.75	3.17	0.61			0.34	0.40	800
25. エスプロカルブ		1.59	1.35				0.32	0.27			500
26. エチオフェンカルブ	4.48					0.09					5,000
27. エチオン	1.12			2.44	2.51	4.48			9.76	10.04	25
28. エディフェンホス	2.16 ~ 7.45	3.48	1.93			1.73 ~ 5.96	2.78	1.54			125
29. エトキサゾール	2.68			1.66	1.87	0.13			0.08	0.09	2,000
30. エトキシキン		1.77					0.71				250**
31. エトプロホス	1.69 ~ 2.42		1.38			13.52 ~ 19.36		11.04			12.5**
32. エトベンザニド	9.85					0.45					2,200
33. エトリムホス	0.83 ~ 2.42	2.36	2.22	1.48	1.76	0.55 ~ 1.61	1.57	1.48	0.99	1.17	150**
34. エンドリン	0.40 ~ 2.42			3.26	2.52	4.00 ~ 24.20			32.60	25.20	10**
35. オキサジアゾン		1.71	2.69	1.39	1.83		0.95	1.49	0.77	1.02	180
36. オキサジクロメホン				3.38					0.74		455
37. オキシフルオルフェン		4.01		3.54	2.71		0.33		0.30	0.23	1,200
38. オキシベンダゾール		0.29					0.02				1,500
39. オメトエート			6.64					6.64			100**
40. カズサホス		1.77	4.12				14.16	32.96			12.5
41. カフェンストール	3.23	4.57	2.37			2.15	3.05	1.58			150
42. カルフェントラゾンエチル	2.39		2.48	1.89	1.88	0.16		0.17	0.13	0.13	1,500
43. カルプロバミド	4.11	8.26		2.42		0.59	1.18		0.35		700
44. カルベンダジム	5.41					0.36					1,500**
45. カルボキシシン		1.77		2.85	3.49		0.44		0.71	0.87	400
46. カルボフラン		2.35		3.38			4.70		6.76		50**
47. キザロホップエチル				2.83					0.63		450
48. キナルホス	0.72 ~ 2.42	2.36	2.59	2.18	2.49	13.09 ~ 44.00	42.91	47.09	39.64	45.27	6
49. キノキシフェン		1.72		1.33	1.79		0.02		0.01	0.02	10,000
50. キノクラミン	2.67		1.93	3.25	3.31	2.54		1.84	3.10	3.15	105
51. キノメチオネート	3.55 ~ 4.91					1.18 ~ 1.64					300
52. キャプタン	0.26					0.01					5,000**
53. キントゼン		1.63	2.57				0.33	0.51			500**
54. クミルロン				3.38					0.68		500
55. グルホシネート	3.61 ~ 11.36					0.79 ~ 2.50					455
56. クレトジム	2.08					0.42					500
57. クロサンテル		1.96					0.16				1,250
58. クロチアニジン				4.02					0.08		4,850
59. クロフェンテジン				2.61					0.61		430
60. クロマフェノジド				3.38					0.03		13,500
61. クロルエドキシホス		1.77	15.66				5.62	49.71			32
62. クロルフェナビル	3.23			2.79	3.21	0.25			0.21	0.25	1,300
63. クロルフェンビンホス	1.05 ~ 2.16		1.67			4.20 ~ 8.64		6.68			25**
64. クロルフルアズロン	2.85					0.23					1,250
65. クロルベンジド			2.40					0.48			500**
66. クロタロニル	4.32 ~ 4.74					0.48 ~ 0.53					900
67. クロロベンジレート (クロルベンジ)	9.20	2.36	2.22			0.92	0.24	0.22			1,000
68. 酢酸トレンボロン		0.12					12.00				1
69. 酸化フェンブタスズ	4.04					0.27					1,500
70. シアナジン	2.68		3.05	2.45	1.92	3.57		4.07	3.27	2.56	75
71. シアノホス	1.69		1.14	2.83	3.13	3.38		2.28	5.66	6.26	50
72. ジェトフェンカルブ	3.34	1.83	2.47	3.57	2.47	0.05	0.03	0.04	0.05	0.04	7,000
73. ジオキサチオン			3.05					4.07			75**
74. ジクラズリル		0.33					0.02				1,500**
75. ジクロシメット		1.85	2.66				0.74	1.06			250
76. シクロスルファミロン	7.45					0.50					1,500

(別表7 つづき)

農薬等名	調査年度等					平均一日摂取量 (μg/人/日)					対ADI比 (%)					ADI (μg/人/日)
	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成3～16年度*	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
227. ホレート		1.65		1.44	1.79		4.71		4.11	5.11						35 **
228. ミクロブタニル	1.79			2.23	2.53	0.15			0.19	0.21						1,200
229. ミルベメクチン				8.89					0.59							1,500
230. メカルバム			3.62					3.62								100 **
231. メソミル	3.21					0.23										1,400
232. メタベンズチアズロン	6.65			2.19		0.23			0.08							2,900
233. メタラキシル及びメフェノキサム	1.79		2.92			0.16		0.27								1,100
234. メチオカルブ	3.91			3.38		0.33			2.82							120
235. メチダチオン			2.49	1.41	1.86			4.98	2.82	3.72						50 **
236. メトキシクロール		2.36	1.12	2.69	2.75		0.05	0.02	0.05	0.06						5,000 **
237. メトキシフェノジド				2.19					0.04							4,900
238. メトミノストロピン	4.76		3.11	2.18	2.79	0.60		0.39	0.27	0.35						800
239. メドラクロール	3.23		1.24			0.07		0.03								4,850
240. メトリブジン	3.36 ~ 4.91					0.54 ~ 0.79										625
241. メバニピリム				3.80					0.32							1,200
242. メビンホス	0.99			2.69	3.81	2.48			6.73	9.53						40 **
243. メフェナセツト	4.56	1.77	2.18			1.30	0.51	0.62								350
244. メフェンビルジエチル		1.67		2.15	2.47		0.12		0.15	0.18						1,400
245. メプロニル	4.56	2.36	3.27	2.22	2.47	0.18	0.09	0.13	0.09	0.10						2,500
246. モノクロトホス	1.57		6.14			5.23		20.47								30 **
247. レスメトリン			5.43	2.35	2.59			0.36	0.16	0.17						1,500 **
248. レナシル	11.23	1.77	2.40	1.43	1.84	0.19	0.03	0.04	0.02	0.03						6,000
249. レバミゾール		0.19					0.06									300

* 平成3～16年度の結果は、それぞれ文献1)～9)から引用した。

** JMPR又はJECFAが設定したADI

平成21年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査等の調査結果について

厚生労働科学研究費補助金(食品の安心・安全確保推進研究事業)
ダイオキシン類等の有害化学物質による食品汚染実態の把握に関する研究

主任研究者 堤 智昭 国立医薬品食品衛生研究所 食品部主任研究官

(平成21年度報告書概要)

1 目的

- ダイオキシン類の人への主な曝露経路の一つと考えられる食品について、
 (1)平均的な食生活における食品からのダイオキシン類の摂取量を推計すること
 (2)個別の食品のダイオキシン類の汚染実態を把握すること 等

2 方法

- (1) ダイオキシン類の食品経路摂取量に関する研究(トータルダイエツスタディ)
 全国7地域の9機関で、それぞれ約120品目の食品を購入し、厚生労働省の平成14年度国民栄養調査並びに平成15、16年度国民健康・栄養調査の食品別摂取量表に基づいて、それらの食品を計量し、そのまま、又は調理した後、13群に大別して、混合し均一化したもの及び飲料水(合計14食品群)を試料として、「食品中のダイオキシン類の測定方法ガイドライン」(平成20年2月、厚生労働省医薬食品局食品安全部)に従ってダイオキシン類を分析し、平均的な食生活におけるダイオキシン類の一日摂取量を算出した。
 なお、ダイオキシン類摂取量への寄与が大きい食品群である10群(魚介類)、11群(肉類、卵類)及び12群(乳、乳製品)について、各機関が3セットずつ試料を調製し、それぞれについてダイオキシン類を測定した。
- (2) 個別食品中ダイオキシン類濃度に関する研究
 個別食品として、国内産及び輸入食品合計43試料について、(1)と同様にダイオキシン類を分析した。

3 ダイオキシン類の調査項目

従来通り、世界保健機関(WHO)が毒性等価係数を定めたポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン(PCDDs)7種、ポリ塩化ジベンソフラン(PCDFs)10種及びコプラナーPCB(Co-PCBs)12種の合計29種。

4 結果の概要

- (1) 一日摂取量調査(トータルダイエツスタディ)
 食品からのダイオキシン類の一日摂取量は、 0.84 ± 0.34 pgTEQ/kg bw/日(0.28~1.49 pgTEQ/kg bw/日)と推定された。この平均値は、平成10年度から継続している調査結果の中でもっとも低い値であり、摂取量推定値の最大値(1.49 pgTEQ/kg bw/日)にあっても、日本における耐容一日摂取量(TDI)4pgTEQ/kgbw/日より低かった。
 なお、同一機関で調整された試料でもダイオキシン類摂取量の最小値と最大値には開きがあり、特に魚介類におけるダイオキシン類の濃度が広い範囲に分布していることが予想された。

<表1 ダイオキシン類一日摂取量の全国平均年次推移>

(5年間の調査結果)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
一日摂取量 (pgTEQ/日)	51.21 (20.19~153.01)	45.08 (16.44~82.03)	46.51 (17.41~125.32)	45.76 (6.65~94.92)	42.14 (13.91~74.27)
体重1kg当たりの 一日摂取量 (pgTEQ/kg bw/日)	1.02 (0.40~3.06)	0.90 (0.33~1.64)	0.93 (0.35~2.51)	0.92 (0.13~1.90)	0.84 (0.28~1.49)

数値は平均値、()内は範囲を示す。なお、体重1kg当たりの一日摂取量は日本人の平均体重を50kgとして計算している。WHO 2005 TEFにより計算した。

<表2 ダイオキシン類一日摂取量の地域別年次推移>

(単位:pgTEQ/kg bw/日)

地域	北海道 地方	東北地方		関東地方			中部地方		
		東北A	東北B	関東A	関東B	関東C	中部A	中部B	中部C
平成10年度	2.43	1.10	—	1.84	1.84	1.76	—	1.70	1.75
平成11年度	1.10	1.27	1.40	3.33	1.43	1.46	1.35	1.37	2.08
平成12年度	0.72	0.95	1.63	1.10	1.51	1.28	1.23	1.24	1.50
平成13年度	0.57	—	1.68	0.88	1.70	1.21	—	1.44	1.32
平成14年度	0.74	—	0.97	1.26	1.17	0.76	—	1.18	0.52
	0.80		1.27	1.66	2.02	0.95		1.43	0.57
	1.23		1.75	2.30	2.99	1.26		1.63	1.11
平成15年度	0.71	—	0.60	0.67	0.75	0.86	—	1.15	0.49
	0.92		0.75	1.63	0.86	0.92		1.30	0.96
	1.13		1.13	2.55	2.31	1.74		1.55	1.26
平成16年度	0.41	—	0.41	1.42	—	0.88	—	0.61	0.52
	0.85		0.70	1.49		1.46		0.76	0.58
	2.15		2.46	1.64		2.04		1.57	1.73
平成17年度	0.59	—	0.53	0.47	—	0.59	—	0.59	0.40
	1.54		0.99	0.76		1.11		0.68	0.50
	3.06		1.38	1.11		1.74		1.22	1.37
平成18年度	0.33	—	0.46	0.51	—	0.68	—	0.58	0.40
	0.39		0.90	0.81		0.87		0.76	0.62
	1.50		1.57	1.28		1.22		0.87	1.01
平成19年度	0.92	—	0.40	0.68	—	0.70	—	0.68	0.35
	1.28		0.60	0.89		0.85		0.76	0.45
	1.34		0.68	1.12		2.51		1.19	1.48
平成20年度	1.05	—	0.13	0.48	—	0.61	—	0.60	0.63
	1.22		0.75	1.24		0.78		0.96	0.69
	1.90		0.85	1.70		1.10		1.11	1.69
平成21年度	0.37	—	0.57	0.28	—	0.68	—	0.70	0.36
	0.92		0.92	0.48		1.06		0.77	0.44
	1.20		1.33	0.69		1.39		0.91	0.96

地域	関西地方			中国四国地方			九州地方	
	関西A	関西B	関西C	中四国A	中四国B	中四国C	九州A	九州B
平成10年度	—	2.29	—	—	—	1.07	1.75	—
平成11年度	5.93	1.55	1.60	3.06	—	1.26	1.57	1.04
平成12年度	1.73	1.22	1.74	—	0.85	1.23	1.31	0.72
平成13年度	—	1.12	1.72	—	0.76	1.36	2.89	—
平成14年度	—	0.83	1.18	—	0.69	0.63	0.47	—
		1.18	1.53		0.81	1.32	1.00	
		2.36	1.72		1.03	1.81	1.55	
平成15年度	—	0.67	—	—	0.53	0.90	0.73	—
		0.98	—		1.06	1.31	0.90	
		1.38	—		1.35	1.76	1.55	
平成16年度	—	1.14	—	—	1.06	0.52	0.52	—
		1.62	—		1.20	0.84		
		1.95	—		1.48	1.07		
平成17年度	—	0.58	—	—	1.01	0.56	0.56	—
		0.70	—		1.34	0.91		
		1.23	—		1.47	1.24		
平成18年度	—	0.86	—	—	0.82	0.54	0.54	—
		1.32	—		0.92	0.56		
		1.54	—		1.64	1.38		
平成19年度	—	0.64	—	—	0.67	0.37	0.37	—
		0.82	—		0.90	1.03		
		1.08	—		1.17	1.56		
平成20年度	—	0.57	—	—	0.61	0.54	0.54	—
		0.61	—		0.64	0.60		
		1.16	—		1.11	1.37		
平成21年度	—	0.63	—	—	0.59	0.57	0.57	—
		0.97	—		0.81	1.08		
		1.14	—		1.49	1.45		

(注)平成21年度調査において各地方でのサンプリングを実施した自治体は以下のとおり。

表の左から、北海道地方:北海道、東北地方:宮城県、関東地方:埼玉県・横浜市、中部地方:石川県・名古屋市、関西地方:大阪府、中国四国地方:香川県、九州地方:福岡県

なお、数値は各地方毎の食品別一日摂取量であり、平成10~19年度の数値についても、過去の研究報告書から引用し、WHO 2005 TEF を用いて再計算したものである。

(2)個別食品中のダイオキシン類等濃度調査

個別食品のダイオキシン類の測定結果は表3のとおりであった。

〈表3 平成21年度 食品中のダイオキシン類の濃度 (pgTEQ/g)〉

食品	産地等 ¹⁾	ダイオキシン類 (pgTEQ/g) ²⁾			
		PCDD/Fs	Co-PCBs	Total	
魚介	アジ	国産(天然)	0.076	0.18	0.25
	アジ	輸入(天然)	0.12	0.24	0.36
	アジ	国産(天然)	0.22	0.26	0.49
	サバ	国産(天然)	0.59	0.98	1.6
	サバ	国産(天然)	0.39	1.2	1.6
	サバ	輸入(天然)	0.12	0.56	0.67
	アナゴ	輸入(天然)	0.10	0.38	0.48
	アナゴ	国産(天然)	0.24	0.81	1.1
	アナゴ	国産(天然)	0.31	0.64	0.95
	カニ	輸入(天然)	0.016	0.022	0.038
	カニ	輸入(天然)	0.0093	0.032	0.041
	カニ	輸入(天然)	0.010	0.021	0.031
食肉	牛肉	国産	0.85	0.053	0.90
	牛肉	国産	0.12	0.064	0.18
	牛肉	国産	0.21	0.067	0.27
	豚肉	輸入	0.00047	0.000060	0.00053
	豚肉	輸入	0	0	0
	豚肉	輸入	0.00024	0.00027	0.00051
	鶏肉	輸入	0.051	0.000060	0.051
	鶏肉	輸入	0.0011	0.00072	0.0018
	鶏肉	輸入	0.013	0.000030	0.013
牛乳	牛乳	国産	0	0.000060	0.000060
	牛乳	国産	0	0.000090	0.000090
	牛乳	国産	0.00020	0.000030	0.00023
バター	バター	国産	0.019	0.0011	0.020
	バター	国産	0.020	0.051	0.071
	バター	国産	0.015	0.0011	0.016
食用油	サラダ油	国産	0.0019	0	0.0019
	サラダ油	国産	0.00015	0	0.00015
	サラダ油	国産	0.028	0.00038	0.028
	オリーブ油	国産	0	0	0
	オリーブ油	輸入	0.0070	0.00086	0.0079
	オリーブ油	輸入	0.013	0.0020	0.015
健康食品	魚油製品	—	0.000090	0.073	0.073
	魚油・アザラシ油製品	—	0	0.0011	0.0011
	アザラシ油製品	—	0.0020	0.085	0.087
	アザラシ油製品	—	0.0010	0.092	0.093
	アザラシ油製品	—	0.0013	0.081	0.083
	アザラシ油製品	—	0.11	0.00036	0.11
	卵黄油製品	—	0.14	0.23	0.37
	卵黄油製品	—	0.0056	0.00072	0.0063
	卵黄油製品	—	0.0028	0	0.0028
	卵黄油製品	—	0.0016	0.0013	0.0029

(注) 1) 産地等の欄における「—」は「不明又は該当せず」を表す。

2) WHO 2005 TEF により計算

【用語説明】

ダイオキシン類:

ダイオキシン及びコプラナーPCB

ダイオキシン:

ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン(PCDDs)

ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDFs)

コプラナーPCB(Co-PCBs):

PCDDs 及び PCDFs と類似した生理作用を示す一群のポリ塩化ビフェニル(PCB)類

トータルダイエツトスタディ:

通常の食生活において、食品を介して化学物質等の特定の物質がどの程度実際に摂取されるかを把握するための調査方法。飲料水を含めた全食品を14群に分け、国民栄養調査による食品摂取量に基づき、小売店等から食品を購入し、必要に応じて調理した後、各食品群ごとに化学物質等の分析を行い国民1人あたりの平均的な1日摂取量を推定するもの。

TEF(毒性等価係数):

ダイオキシン類は通常混合物として環境中に存在するため、様々な同族体のそれぞれの毒性強度を、最も毒性が強いとされる2,3,7,8-TCDDの毒性を1とした毒性等価係数(TEF: Toxic Equivalency Factor)を用いて表す。なお、今回は2005年にWHOで再評価されたTEFを用いている。

TEQ(毒性等量):

ダイオキシン類は通常、毒性強度が異なる同族体の混合物として環境中に存在するので、摂取したダイオキシン類の量は、各同族体の量にそれぞれのTEFを乗じた値を総和した毒性等量(TEQ: Toxic Equivalent Quantity)として表す。

TDI(耐容一日摂取量):

長期にわたり体内に取り込むことにより健康影響が懸念される化学物質について、その量まではヒトが一生にわたり摂取しても健康に対する有害な影響が現れないと判断される一日当たりの摂取量。ダイオキシン類のTDIについては、1999年6月に厚生省及び環境庁の専門家委員会で、当面4 pgTEQ/kg bw/日(1日に体重1 kg当たり4 pgTEQの意味。体重50 kgの人であれば、4 pgTEQ×50 kgで計算し、TDIは200 pgTEQとなる。)とされている。

食品衛生分科会における審議対象品目の処理状況について

分科会	分類	剤名	パブリックコメントの状況		WTO通報の状況		備考
3月3日	添加物	2-エチル-5-メチルピラジ	平成22年4月21日～ 平成22年5月20日	意見なし	平成22年4月8日～ 平成22年6月6日	コメントなし	
		イソペンチルアミン	平成22年4月21日～ 平成22年5月20日	意見なし	平成22年4月8日～ 平成22年6月6日	コメントなし	
		ケイ酸マグネシウム	平成22年4月21日～ 平成22年5月20日	意見なし	平成22年4月8日～ 平成22年6月6日	コメントなし	
6月2日	添加物	フェネチルアミン	平成22年4月21日～ 平成22年5月20日	意見なし	平成22年7月2日～ 平成22年8月30日	コメントなし	
		ブチルアミン	平成22年4月21日～ 平成22年5月20日	意見なし	平成22年7月2日～ 平成22年8月30日	コメントなし	

分科会	分類	剤名	パブリックコメントの状況	WTO通報の状況	備考
6月2日	農薬	ピリミスルファン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見なし	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	
		1-メチルシクロプロペン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見なし	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	
		プロチオコナゾール	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見なし	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	
		プロバモカルブ	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントあり	基準値(案) の変更はなし
		メトラクロール	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見なし	平成22年6月30日～ 平成22年8月29日 コメントなし	
		ピリプロキシフェン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	基準値(案) の変更はなし
		フルシラゾール	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見なし	平成22年6月30日～ 平成22年8月29日 コメントなし	
		ペントキサゾン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントあり	基準値(案) の変更はなし
		ルフェヌロン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	基準値(案) の変更はなし
		スピロメシフェン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	基準値(案) の変更はなし
		クロメプロップ	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントあり	基準値(案) の変更はなし
		イミベンコナゾール	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見なし	平成22年6月30日～ 平成22年8月29日 コメントあり	基準値(案) の変更はなし
		アジムスルフロン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントなし	基準値(案) の変更はなし
		シフルフェナミド	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントあり	基準値(案) の変更はなし
		クロフェンセット	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日 意見あり	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日 コメントあり	基準値(案) の変更はなし
		プロファミ	パブリックコメントの対象外	WTO通報の対象外	

分科会	分類	剤名	パブリックコメントの状況		WTO通報の状況		備考
			パブリックコメントの状況	パブリックコメントの状況	WTO通報の状況	WTO通報の状況	
6月2日	動物用医薬品等	1 コリスチン	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日	意見なし	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日	コメントあり	基準値(案)の変更 はなし
		2 ラフォキサニド	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日	意見なし	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日	コメントなし	
		3 オキシベンダゾール	平成22年6月9日～ 平成22年7月8日	意見なし	平成22年6月14日～ 平成22年8月13日	コメントあり	基準値(案)の変更 はなし
		4 カルプロフェン					食品輸入円滑化推 進会議に対するコ メントとして、基準 値(案)に対する意 見及び関係資料の 提出があったた め、その取扱いに ついて検討中。
		5 クレンプテロール	試験法と合わせて実施予定		平成22年6月14日～ 平成22年8月13日	コメントあり	
		6 ニューカッスル病・マレック病(ニュー カッスル病ウイルス由来F蛋白遺伝子 導入マレック病ウイルス1型)凍結生ワ クチン	パブリックコメントの対象外		WTO通報の対象外		